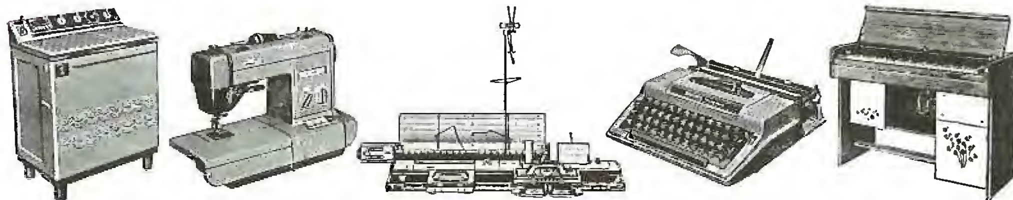


練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする――それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから――。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



昭和53年度 全国教員養成大学ハンドボール研修会報告

昭和53年度全国教員養成大学学生研修会は、8月16日から19日まで東京オリンピック記念青少年スポーツセンターで3泊4日のスケジュールにより行なわれた。

「技術研修クラス」参加者121名昨年より開設した「指導法研修クラス」参加者22名、という多数の受講生を迎え、酷暑の中熱気あふれる研修会であった。

的場益雄氏の「指導者としてのハンドボールへのとりくみ方」、全日本男子ナショナルチーム、竹野奉昭監督の「世界のハンドボール技術」、荒川清美理事長の「ハンドボールの普及について」等の講演には受講生全員がハンドボールに対する新たな認識と感銘を受けたものであった。

「技術研修クラス」での技術指導では、男子ナショナルチームコーチ木野実氏、元オリンピック選手飯田誠行氏、元全日本学生代表新井田司氏ら豪華な顔ぶれによるチーム単位での熱心な指導により気迫あふれたものであった。

昨年開設した「指導法研修クラス」も今年は22名の受講生参加と増加が見られた事は大変嬉しい事であった。平岡秀雄氏の熱心な指導によって、教育現場でのハンドボール指導の考え方、そのポイントは何かなどが講義と実技の中でわかりやすく説明された。又、昨年まで審判部の協力を得て審判法指導を開いていたのだが、今回から審判法指導の講義、実技受講生で希望者にD級レフェリー資格が得られるようになり52名の多くの者が申請をした。

第5回になる本研修会も昨年から150名近い参加者を迎えるようになり、会場の問題、日程の問題など再考を要する問題もあるが、ハンドボールの普及が教育現場にかかっている現状を考えれば研修会の意義の大きい事を示すものであろう。多くの方々の協力を得た事を感謝し、より有意義な研修会となるよう今後一層の努力をしてゆきたいと思う。

8/16（水）～19（土）4日間
東京オリンピック記念青少年総合センター

研修会日程

第一日目　8月16日

8:30　受付
9:30
10:00　開講式　勝繁夫普及指導委員長挨拶
講演　"ハンドボール界の今後に期待すること"的場益雄教職員連盟副会長
11:30～1:00　昼食
1:00～3:00　技術研修　技術法研修
体力トレーニング
3:00～　講義"指導法のねらい"
審判技術：理論及び実技
5:00～5:30　夕食・入浴
7:00～9:30　講義及び班別ミーティング

第二日目　8月17日

9:00　技術研修　指導法研修
～10:00　講義"私とハンドボール"仮題　竹野奉昭　全日本監督
10:15～11:15　講義"ハンドボールの世界情勢"
11:30　木野実　全日本コーチ
～1:00　昼食
1:00～3:00　基本練習
個人的技術・基本ユニットプレー　テキストP25～P32　第一段階
5:00　応用練習　テキストP33
5:30　応用ユニットプレー　～P36
～　夕食・入浴
～9:30　全体：新睦会

第三日目　8月18日

8:30　技術研修　指導法研修
総合練習　第2段階　P37～P39
10:00～11:30　ゲーム　第3段階　P40～P43
1:00～3:00　ゲーム　第4段階　P44～P50
3:00～5:00　ゲーム　第5段階　P51～P53
5:30～7:00　夕食及び入浴
～9:30　映画：オリンピック

「ハンドボール」
53年10月号（第166号）目次

【表紙写真】
全国自衛隊選手権大会第一戦での一コマ――

第四日目　8月19日

9：00　講演〝荒川清美理事長〟
～
9：45　全体ミーティング
・感想反省普及指導委員長以下講師
・ゲーム結果報告及び表彰
・参加者感想文作成
・研修会修了証授与

11：00　閉講式

参加校名及び氏名　一五〇名

技術研修グループ

三重大学
市川　晶子　長谷川一義
小西　利子　小岐まゆみ
一色真理子　後藤　有子
山岡　貴子　藤田　淳子　8名

茨城大学
西野　裕子　篠原　範子
赤木　泉美　仙波　和江
竹林　桂子　富永　文江
山崎あや子　7名

福岡教育大学
小林　祥子　寺島　芳美
高橋　尚子　和田小夜子
松田　弘子　広瀬　克子
井上可知子　松本千枝子　8名

奈良女子大学
今尾　淑恵　梶並三枝子
関　順子　黒崎なつめ
西野真理子　益本美千代
福良　理恵　柏谷　美幸　8名

宮城教育大学
須藤　美紀　渡辺ゆみ子
佐藤　律子　佐藤かすみ
水上　明子　松風いづみ
日野和歌子　内藤　千裕
高橋　幸子　熊谷みゆき
青野　涼子　11名

文教大学
今井　理恵　平塚志津子
古川奈加子　吉岡佐登美
土田　恭子　名賀石琢美
広瀬　尚美　二階堂啓子
杉村　清美　深尾　珠美
船津　洋子　12名

広島大学
奥田　和永　弘中　満雄
渡辺　貞彦　北川　道隆
高　俊文　山下　泰彦
山崎　伸介　大達　彰
竹田　俊雄　万代　和考
武宮　博　11名

北海道教育大学釧路分校
荻原　崇弘　伊藤　徳之
阿部　隆　栗森　司
伊沢　昭由　丸山　裕治
柿沼　聖哉　葛西　清樹
本野　宇市　9名

鳥取大学
渡辺　達也　八木　博典
緒方　宏　大下　泰生
藤川　朗　石本　秀樹
石田　元重　武藤　具弘
野口　隆志　布目　清秀
三谷　雅樹　11名

福岡教育大学
志水　良光　益田　和紀
若松　信彦　水田　尚文
小沢　重雄　堀　克巳
林田　靖也　7名

北海道教育大学函館分校
鳴海　裕　森屋　宏
能代　仁　長川　秀正
吉野　文敏　盛　繁治
水野　修　7名

日本大学
古川　重樹　平野　雅也
黒田　義昭　徳永　誠
小木　曽崇　臼井　憲一
熊野　真司　神谷　千草　8名

熊本大学
三原　泉　金子　昭宏
西守　信二　大格伸一郎
野口　義展　鶴田　謙二
曽原　辰平　浅川　美昭
萩尾　一雄　壱岐　雅夫
柿田　毅　安田　八洋　12名

都留文科大学
有義　勝典　則竹　常行
井上　英明　上原　一信
西条　由人　白石　隆
根来　雅　宮沢　賢二
森　勇　阿部　清司
川井　文男　中東　久直
永留　昌明　野崎　篤　14名

福岡教育大学
宮田　政克　中村　純二
高柳　光利　田中　達男
安部真利子

三重大学
大岩　良三　奥村　資紀
佐々木克二

指導法研修グループ

福井大学　山本　真

鳥取大学
藤原　高広　梶原　康男

北海道教育大学釧路分校
山崎　雅弘　武智　茂雄
竹内　智子

岡山県立短期大学
藤野真知子　藤原　清子

広島大学　久保田　玄

役割分掌

総括主任　勝　繁夫
総括副主任　平岡　秀雄
　水上　一
庶務係（主）　平岡　秀雄
庶務係　小林　重信
会計係（主）　浅野　鉦世
　高田日呂美
会場係（主）　水上　一
　新井田　司
記録係（主）　村松
　深堀　昇
指導法研修指導　平岡　秀雄

■ 技術指導

木野　実・大西武三・福木　弘・
飯田信行・家村一敏・浅野鉦世・
水上　一……以上講師七名



第三回 日本ハンドボールリーグ 前期大会・後半結果

大同(男子)、ビクター(女子) 首位で後期へ!

第四週

○第一日 7/1(土)
■横浜文化体育館
観客 一、〇〇〇

本田技研鈴鹿 31 (16 15—10 7) 17 三陽商会

本田技研鈴鹿は前半、ゴール前の速いパスワークが三陽商会のデフェンスを抜いて得点を重ねた。後半は速攻でも得点を加点、佐藤柴田と攻守に活躍、一方的ゲーム展開となった。

【三陽】

	氏名	S	得
GK	吉近	0	0
GK	田村	0	0
FP	近森	9	2
FP	関	22	5
FP	坪子	4	2
FP	稲木	3	2
FP	緒方	7	2
FP	石原	1	1
FP	梅屋	0	0
FP	鵜沢	0	0
FP	三上	1	0
FP	田村	12	3
		59	17

【本田】

	氏名	得	S
GK	柴田	0	0
GK	細野	0	0
FP	山上	6	12
FP	佐藤	12	20
FP	喜井	1	2
FP	水本	3	4
FP	矢野	3	4
FP	西田	1	2
FP	高橋	3	3
FP	嶋林	0	1
FP	佐々木	2	3
FP	谷本	0	0
		31	51

(審・清水・斉藤)

【PT】本田 山上1 (1) 佐藤3 (2) 三陽 関2 (1) 田村1

日本ビクター 16 (10 6—6 6) 12 ブラザー工業

日本ビクターは前半ベテラン池田、加藤を軸にスピードある動きを見せ、ブラザー工業のデフェンスを圧し、ペナルティーからの4得点を含んで10対6とリード。ブラザー工業は後半立直しを見せたが、前半の4点差が最後まで響いた。

【ブエ】

	氏名	S	得
GK	山本	0	0
GK	屋比久	0	0
FP	岩井	2	1
FP	山中	8	4
FP	則武	0	0
FP	小森	6	1
FP	楠石	3	1
FP	宮	9	2
FP	植田	0	0
FP	山村	4	1
FP	中川	1	1
FP	川村	1	1
		38	12

【日ビ】

	氏名	得	S
GK	鈴木	0	0
GK	塙	0	0
FP	加藤	6	8
FP	穂積	2	12
FP	小島	0	0
FP	斉藤	0	0
FP	柴谷	1	3
FP	伊藤	2	3
FP	藤原	0	0
FP	江橋	0	0
FP	岩城	0	1
FP	池田	3	7
		16	34

(審・佐分・大塚)

【PT】日ビ 加藤1 (1) 穂積1 (0) 池田4 (4) ブエ 山村1 (1)

○第二日 7/2(日)
■市川市スポーツセンター
観客 一、〇〇〇

湧水薬品 30 (15 15—7 6) 13 日新製鋼

立上がりから力強い早い攻撃を見せ日新につけ入るスキを与えなかった湧永が終始、日新を圧倒。

【日新】

	氏名	S	得
GK	三田	0	0
GK	筒本	0	0
FP	泉	7	3
FP	徳田	5	2
FP	大庭	5	0
FP	吹上	3	2
FP	関本	3	1
FP	脇若	6	2
FP	森	1	0
FP	下茂	12	3
FP	湯中	1	0
		43	13

【湧永】

	氏名	得	S
GK	今井	0	0
GK	福井	0	0
FP	津川	1	5
FP	木野	1	1
FP	穂積	3	4
FP	藤本	1	2
FP	戸田	4	4
FP	松木	6	7
FP	山田	7	10
FP	原田	2	3
FP	生駒	3	3
FP	池ノ上	2	3
		30	42

(審・近藤・佐野)

【PT】湧永 山本3 (3) 原田1 生駒1 日新 下茂1 (2)

ブラザー工業 13 (7 6—7 6) 13 ジャスコ

前半は追いつ追われつの好ゲームであった。後半ブラザー工業は開始から6分間で4点を連取し、ペースに乗ったかに見えたが、ジャスコは7分過ぎからブラザー5番の小森にマンツーマンでつき、追い上げた。ジャスコは、終了1分前、11番辻本選手のカットインで同点、引き分けました。

【ジャ】

	氏名	S	得
GK	久保	0	0
GK	山本	0	0
FP	平田	0	0
FP	松下	10	4
FP	林	0	0
FP	金田	0	0
FP	鈴木	5	1
FP	河田	13	3
FP	笠	0	0
FP	若田	6	4
FP	横山	2	0
FP	辻本	1	1
		37	13

【ブエ】

	氏名	得	S
GK	山本	0	0
GK	屋比久	0	0
FP	岩井	0	0
FP	山中	2	11
FP	則武	0	0
FP	小森	3	5
FP	楠石	0	2
FP	宮平	2	7
FP	樋田	1	4
FP	山村	3	3
FP	中川	2	3
FP	川村	0	0
		13	35

(審・佐分・大塚)

【PT】ジャ 松下2 (2) ブエ 山村2 (2) 小森1 (1)

■小松市体育館
観客 三、三〇〇

大阪イーグルス 27 (15 12—9 6) 15 三景

大阪イーグルスは前半から高橋の速攻、福井のミドルシュートなどで着々加点、後半にはいってもスピードはおとろえず、三景に快勝した。

【三景】

	氏名	S	得
GK	小林	0	0
GK	小松	0	0
FP	佐々木	7	3
FP	鈴木	6	6
FP	山村	6	1
FP	川島	0	0
FP	鳥中	0	0
FP	地主園	0	0
FP	村山	12	2
FP	中馬	3	0
FP	西窪	8	3
FP	吉近	0	0
		42	15

【イグ】

	氏名	得	S
GK	広川	0	0
GK	本田	0	0
FP	高橋	8	11
FP	足羽	0	1
FP	大西	2	4
FP	橋本	2	3
FP	河原崎	1	6
FP	早川	1	5
FP	福井	7	15
FP	北居	2	4
FP	杉尾	0	0
FP	勝本	4	5
		27	54

(審・若山・村井)

北国銀行 12 (7 5—4 1) 5 東北ムネカタ

北国銀行は前半、山際のミドルシュート、庄内のポストプレーなどで得点、守ってはムネカタのエース清水を徹底マーク、1点にお

第3回日本ハンドボールリーグ日程表後期

第1週 第1日 9月9日(土)
東京体育館
- ◎ビクターームネカタ 15:30〜16:30
- 大同ー三陽 16:40〜17:50
- 三景ー大崎 18:00〜19:10

第1週 第2日 9月10日(日)
東京体育館
- 三景ー三陽 12:00〜13:10
- ◎立石ー大崎 13:25〜14:25
- ※湧永ー大崎 14:35〜15:45

柏市民体育館
- 本田ー日新 13:00〜14:10
- ◎ジャスコー北国 14:20〜15:20
- 大同ーイーグルス 15:30〜16:40

第2週 第1日 9月15日(金)
大阪市中央体育館
- ◎ブラザーームネカタ 13:00〜14:00
- ◎立石ー日立 14:10〜15:10
- イーグルスー日新 17:30〜18:30

第2週 第2日 9月16日(土)
和歌山県立体育館
- ◎ビクターージャスコ 15:00〜16:00

さえた。後半ムネカタは清水・加藤のロングシュートで反撃を見せたが、及ばなかった。

得	S	【北国】		【東北】	S	得
0	0	酒谷	GK	熱海	0	0
0	0	高橋	GK	海村	0	0
2	2	庄田	FP	本郷	0	0
0	0	中山		近内	1	0
2	2	本田		清水	19	3
2	9	千歩		石田	0	0
3	9	山際		加藤	12	2
0	0	西出		米野	0	0
0	0	坂		落合	1	0
0	0	崎田		水野	0	0
3	4	八木		物井	0	0
0	0	木内		川音	0	0
12	26				33	5

（審・山口 徳前）

【PT】北国 八木2（2）

大崎電気 19（9―10／10―6）16 三陽商会

地元大崎は立上りから、元気一杯のプレーを展開、早い動きで三陽を圧倒。後半硬さのとれた三陽は、関・近森らの活躍で10分には1点差と追いあげ試合を盛り上げたが、24分合点の好機にPTを失敗した三陽は勝利の女神に見離された如く、ずるずると点差を開かれていった。大崎は今期初の1勝をあげた。

得	S	【大崎】		【三陽】	S	得
0	0	岡部	GK	古近	0	0
0	0	原田	GK	田村	0	0
6	7	斉藤	FP	近森	4	1
0	1	坂口		関	22	6
4	12	大熊		坪子	3	3
0	0	新田		稲木	1	0
4	15	長野		緒方	2	1
2	6	椿原		梅尾	0	0
1	3	佐伯		鶴沢	0	0
2	3	橋本		三上	3	1
0	0	松岡		金子	9	4
0	0	金井		小倉	0	0
19	47				44	16

（審・山下 高橋）

【PT】大崎 斉藤1（1）三陽 関1（2）金子1（1）

大崎電気 12（8―7／4―4）11 日立栃木

今期好調の大崎電気は地元で日立栃木を迎え、開始よりハツラツと早い動きでスタート、しかしながら両チーム共自分のペースをつかむことが出来ず、一進一退のゲーム展開で前半終了、後半に入っても両チーム、決め手に欠く攻撃で一進一退が続く。20分大崎が大場・西らのゲットで2点リードし抜け出るかと思われたが、粘る日立は、主将山井の3点連続ゲットで1点差とつめ寄ったが、タイムアップ、大崎薄氷の1勝であった尚この試合、やたらとオーバーステップの目立つゲームであった。

得	S	【大崎】		【日立】	S	得
0	0	中島	GK	高橋	0	0
0	0	藤村	GK	寺沢	0	0
0	0	小笠原	FP	山井	3	2
6	17	西		島田	7	1
0	0	陽田		吉田	7	1
0	0	内野		小根	2	1
3	10	大場		大輪	2	2
0	3	佐々木		山戸	0	0
1	3	石井		箕輪	0	0
2	2	徳渕		水上	8	2
0	0	江島		毛塚	0	0
0	0	根間		小野瀬	6	2
12	35				35	11

（審・清水 斉藤）

【PT】大崎 西2（2）日立 山井1（1）

第五週

○第一日 7／8（土）

■福島市体育館

観客 一、五〇〇

日新製鋼 22（15―7／7―11）18 三陽商会

三陽商会は前半近森の好リードのもと関が7得点をあげリードしたが、後半に入り中半を過ぎる頃日新は追いあげ、追いつき、逆転し、以後は日新のペースでゲームは終了した。なおこの試合で三陽③関はペナルティースロー1を含む10得点をあげた。

得	S	【日新】		【三陽】	S	得
0	0	三山	GK	吉近	0	0
0	0	筒本	GK	山村	0	0
2	5	泉	FP	近森	7	3
4	6	徳山		関	18	10
0	0	大庭		坪子	1	1
3	5	吹上		緒方	2	1
3	4	関本		石原	1	0
2	5	脇若		梅星	0	0
0	0	森		鶴沢	1	1
8	18	下茂		三上	0	0
0	0	湯中		金子	4	2
				小倉	0	0
22	43				34	18

（審・加藤 村上）

【PT】日新 脇若1（1）下茂4（4）三陽 関2（1）金子1

ジャスコ 13（8―1／5―6）7 日立栃木

日立は立あがり好調にスタートしたが時間経過とともにジャスコが追いあげ、後半に入って3分で逆転、よく走り得点を重ねた。島田を欠く日立は後半終了3分前の小根沢の1点だけでは如何ともしがたかった。

得	S	【ジャ】		【日立】	S	得
0	0	久保	GK	高橋	0	0
0	0	山本	GK	寺沢	0	0
0	0	平田	FP	山井	5	1
7	11	松下		島田	1	0
0	0	林		吉田	13	2
2	2	金田		小根沢ま	6	1
1	4	鈴木		荒木	3	1
2	5	河田		小根沢加	0	0
0	0	笠		大輪	1	1
0	1	若田		山戸	0	0
1	1	横山		水上	11	1
0	0	辻本		毛塚	1	0
13	24				41	7

（審・森 勝山）

【Pて】ジャ 松下4（4）鈴木1（1）日立 荒木2（1）

ブラザー工業 14（8―0／6―3）3 東北ムネカタ

ゲームはブラザーのリードで終始した。ムネカタはブラザーのスピードについて行けず攻めても動きがにぶくシュートのチャンスをつかむことができなかった。

得	S	【ブエ】		【ムネ】	S	得
0	0	山本	GK	熱海	0	0
			GK	海村	0	0
1	5	岩井	FP	本郷	0	0
3	8	山中		近内	1	0
4	7	則武		清水	14	2
0	4	小森		石田	0	0
3	6	楢石		加藤	7	1
0	0	宮平		米野	3	0
0	1	植山		落合	1	0
3	6	山村		水野	0	0
0	2	木下		物井	0	0
0	0	中川		川音	0	0
14	39				26	3

（審・高橋 山下）

【PT】ブエ 山村3（2）ムネ 清水1（1）

イーグルス―三陽 16：10～17：10

◎ブラザー―北国 17：30～18：30

第2週 第3日 9月17日（日）

京都府立体育館

◎ビクター―立石 15：00～16：00

湧永―本田 16：20～17：30

神戸市立中央体育館

◎ジャスコ―日立 14：00～15：00

大同―日新 15：30～16：40

第3週 第1日 9月23日（土）

湯沢雄勝圏民体育館

◎日立―ムネカタ 13：00～14：00

大同―三景 14：10～15：20

第3週 第2日 9月24日（日）

山形県営体育館

◎ビクター―大崎 14：00～15：00

本田―大崎 15：10～16：20

第4週 第1日 9月30日（土）

広島県立体育館

◎ジャスコ―ムネカタ 15：50～16：50

三景―日新 17：00～18：10

湧永―イーグルス 18：20～19：30

小松市体育館

大崎―三陽 14：30～15：40

■熊本市体育館　観客　二、〇〇〇

本田技研鈴鹿 23（12−6 / 11−4）10 三景

前半本田技研が確実なシュートにくらべ三景には雑なプレーが多く11対4で前半を終った。後半も佐藤が8ゴールをあげるなど本田技研の一放的な試合となった。

【三景】		S	得
GK	小林	0	0
GK	野田	0	0
FP	佐々木	6	1
FP	鈴木	12	3
FP	山村	2	0
FP	川島	2	0
FP	島中	5	1
FP	地主園	2	0
FP	村田	12	4
FP	中馬	2	1
FP	西渕	4	0
FP	吉近	0	0
		47	10

（審・森、島田）

【本田】		S	得
GK	柴田	0	0
GK	細野	0	0
FP	田上	7	5
FP	佐藤	15	7
FP	喜井	9	1
FP	水本	3	1
FP	矢野	2	2
FP	西田	1	1
FP	松永	2	1
FP	高嶋	8	4
FP	佐々木	4	1
FP	谷元	0	0
		41	23

【PT】本田　田上1（1）

立石電機 15（8−7 / 7−7）14 大崎電気

立上り平下のスタンディングシュートが決まり優位に立った立石電機は固いデフェンスから大崎電気のシュートミスをさそい前半十分6対3とリードした。しかしポストプレーからの陽田・間野のシュートで連取した大崎電気は同点においついて前半を終った。後半に入り立石電機はフォーメーションプレー、スカイプレー等で桑原が5点を取り、ねばる大崎電気をつきはなした。

【大崎】		S	得
GK	中島	0	0
GK	藤村	0	0
FP	小笠原	0	0
FP	西	9	4
FP	陽田	1	1
FP	内野	3	3
FP	大場	20	4
FP	佐々木	2	0
FP	石井	4	2
FP	徳渕	1	0
FP	江島	0	0
FP	根間	0	0
		40	14

（審・近藤、日野）

【立石】		S	得
GK	丸山	0	0
GK	井村	0	0
FP	姫野	1	1
FP	桑原	12	5
FP	立下	4	2
FP	紀野	5	2
FP	林	1	0
FP	羽立	4	1
FP	橋ノ口	7	3
FP	福永	3	1
FP	藪用	1	0
FP	喜久山	0	0
		38	15

【PT】立石　紀野、福永1（0）大崎　西2（1）石井1（0）

○第二日　7／9（日）

■長崎国際体育館　観客　二、〇〇〇

湧永薬品 29（17−10 / 12−4）14 大崎電気

大崎は湧永の固いディフェンスを崩せず、単発シュートもGK福井の好守にはばまれ、前半で勝負がついた。一方湧永は、早いボール展開から着々とシュートを重ねた。速攻からの戸田のシュートも確実性があり、得点は開くばかり後半は選手層の厚い湧永はメンバーチェンジする余裕を見せ、大差で終了した。

【大崎】		S	得
GK	岡部	0	0
GK	原田	0	0
FP	斉藤	8	4
FP	坂口	0	0
FP	大熊	18	5
FP	新田	0	0
FP	長野	8	2
FP	椿原	7	3
FP	佐伯	3	0
FP	橋本	0	0
FP	松岡	0	0
FP	金井	2	0
		45	14

（審・日野、近藤）

【湧永】		S	得
GK	今井	0	0
GK	福井	0	0
FP	津川	6	2
FP	木野	4	2
FP	穂積	11	4
FP	藤本	6	3
FP	生駒	4	3
FP	戸田	8	6
FP	内田	2	1
FP	松本	10	4
FP	山本	4	2
FP	池ノ上	6	2
		61	29

【PT】湧永　内田1（1）山本2（1）大崎　斉藤2（2）

日本ビクター 29（17−10 / 12−4）14 大崎電気

ビクターはロングシュート、ポストシュートと確実に得点を重ね前半を終了。後半は大崎も良く動き加点したが、前半の失点が大きすぎた。

【大崎】		S	得
GK	中島	0	0
GK	藤村	0	0
FP	小笠原	0	0
FP	西	8	2
FP	陽田	2	0
FP	内野	4	2
FP	大場	14	2
FP	佐々木	4	1
FP	石井	7	3
FP	徳渕	0	0
FP	江島	0	0
FP	根間	0	0
		39	10

（審・島田、森）

【日ビ】		S	得
GK	鈴木	0	0
GK	塙	0	0
FP	加藤	9	1
FP	穂積	9	3
FP	小島	3	3
FP	斉藤	0	0
FP	染谷	6	4
FP	伊藤	6	4
FP	江橋	5	1
FP	岩城	2	1
FP	池田	5	3
FP	藤原	1	1
		46	21

【PT】日ビ　池田2（2）大崎　石井2（2）西1（1）

第六週

■栃木県体育館　観客　一、五〇〇

大阪イーグルス 25（15−8 / 10−9）17 大崎電気

前半は1点を争う緊迫した好ゲームだった。大崎は佐伯等がよく健闘したが後半、パス、シュートのミスが多く大阪イーグルスに差を広げられた。大阪イーグルスの福井、高橋らが効果的なシュートをよく決めるとともに、キーパー本田は終始大崎の強烈なシュートを阻止した。

【大崎】		S	得
GK	岡部	0	0
GK	原田	0	0
FP	斉藤	6	3
FP	坂口	0	0
FP	大熊	10	3
FP	新田	0	0
FP	長野	14	2
FP	椿原	13	6
FP	佐伯	3	2
FP	橋本	2	1
FP	金井	0	0
FP	松岡	0	0
		48	17

（審・山下、高橋）

【イグ】		S	得
GK	広川	0	0
GK	本田	0	0
FP	高橋	13	7
FP	足羽	2	1
FP	大西	5	3
FP	河原崎	13	3
FP	早川	0	0
FP	福井	14	5
FP	杉屋	2	1
FP	三谷	5	1
FP	勝本	9	4
		63	25

【PT】大崎　斉藤2（2）椿原3（3）

大崎電気 16（8−4 / 8−3）7 東北ムネカタ

大崎電気はスピードと守りの固さで終始ムネカタを圧倒、特に内野、大場、陽田がよく活躍した。ムネカタはエース清水にシュートの〇えが見られずよく健闘したが及ばなかった。

【東北】		S	得
GK	熱海	0	0
GK	海村	0	0
FP	木郷	2	0
FP	近内	0	0
FP	清水	26	4
FP	石田	4	0
FP	加藤	0	0
FP	米野	5	2
FP	落合	4	1
FP	水野	2	0
FP	物井	0	0
FP	川音	0	0
		43	7

（審・斉藤、永山）

【大崎】		S	得
GK	藤村	0	0
GK	梅野	0	0
FP	西	3	1
FP	陽田	4	2
FP	内野	5	3
FP	大場	14	5
FP	佐々木	2	1
FP	石井	8	3
FP	徳渕	2	0
FP	江島	1	1
FP	宮嶋	0	0
FP	根間	0	0
		39	16

◎大崎−北国　16:00〜17:00

第4週　第2日　10月1日（日）

徳山市体育館

本田−イーグルス　13:00〜14:10

◎立石−ムネカタ　14:30〜15:30

湧永−日新　15:50〜17:00

高岡市民体育館

◎ビクター−北国　13:00〜14:00

大同−大崎　14:10〜15:20

◎プラザ−日立　15:30〜16:30

第5週　第1日　10月28日（土）

郡山総合体育館

大崎−日新　17:30〜18:40

◎大崎−ムネカタ　19:00〜20:00

足利市民体育館

三景−イーグルス　15:00〜16:10

◎日立−北国　16:25〜17:25

第5週　第2日　10月29日（日）

長岡市厚生会館

◎プラザ−ジャスコ　13:00〜14:00

本田−三陽　15:00〜16:10

第6週　第1日　11月3日（金）

久留米スポーツセンター−県立体育館

◎立石−プラザ　14:30〜15:30

湧永−三陽　15:55〜17:05

【PT】大崎　石井2（2）東北清水1（2）

ブラザー工業　14（9－6／5－6）12　日立栃木

日立栃木は地元での試合とあって、故障中のエース島田が前半から出場、島田のロング・シュートで先行、前半13分には5対1とリードした。しかし実力あるブラザー工業は山中、則武、植田らの活躍で23分に逆転、前半9対6と逆に引離した。後半は両チーム交互に加点、好ゲームが展開されたが日立栃木は前後半で5本のペナルティースローのうち4本をはずしたのが最後までひびいた。

【日立】		S	得
GK	高橋	0	0
	寺沢	0	0
FP	山井	9	0
	島田	11	5
	吉田	4	2
	小根沢	1	1
	荒木	3	2
	大輪	0	0
	山戸	0	0
	箕輪	0	0
	水上	3	2
	毛塚	1	0
		33	12

（審・佐分　佐野）

【ブ工】		S	得
GK	山本	0	0
FP	岩井	6	1
	山中	13	5
	則武	3	3
	小森	3	0
	宮平	3	1
	植田	5	3
	山村	1	0
	木下	0	0
	中川	2	1
	川村	0	0
		36	14

【PT】日立　島田1（2）

■石川県体育館

観客　一、八〇〇

大同特殊鋼　27（14－9／13－12）21　三景

前半19分頃まで三景はねばり、こい攻めとキーパー小林の好守でリードを取っていたが、8対8の同点から大同蒲生のロングシュート2本続けて決まってから速攻で前半14対9となる。後半両チーム共ペースをつかみ取れず前半の得点差が終了まぎわまで続いた。

【三景】		S	得
GK	小林	0	0
	野田	0	0
FP	佐々木	7	4
	鈴木	9	2
	山村	3	1
	川島	1	1
	島中	2	2
	地主園	1	0
	村田	6	3
	中馬	5	4
	西窪	11	4
	吉近	0	0
		45	21

（審・若山　村井）

【大同】		S	得
GK	大園	0	0
FP	中井	13	6
	松原	1	0
	花輪	2	1
	柳山	5	4
	大原	13	3
	中本	1	0
	蒲生	20	12
	更谷	0	0
	浦田	0	0
	小野	1	1
		56	27

【PT】大同　蒲生2（2）三景　村田1（1）

立石電機　13（7－5／6－2）7　北国銀行

前半北国は山際を中心に2点を先取、立石の攻撃に対しても良く守り得点を許さず8分が経過。9分過ぎに立石はPTによる平下の得点を機に本来のペースを取り戻し、全員がよく走り着々と得点を重ね7－5と逆転。

後半に入ってからも、立石は全員の無駄の無い動きから着実に得点を加え、追いすがる北国をあっさりと振り切った。

北国に惜しまれるのは、PT2本を立石GK丸山の好守にはばまれたことであろう。

【北国】		S	得
GK	酒谷	0	0
	高橋	0	0
FP	庄田	4	1
	中山	0	0
	本田	0	0
	千歩	15	3
	山際	15	3
	西出	0	0
	坂	0	0
	崎田	0	0
	八木	2	0
	木内	0	0
		36	7

（審・徳前　山口）

【立石】		S	得
GK	丸山	0	0
	井村	0	0
FP	姫野	2	2
	桑原	6	1
	林	7	2
	平下	5	3
	羽立	4	1
	橋ノ口	15	3
	福永	0	0
	薮山	3	2
	喜久山	0	0
		47	13

【PT】立石　平下1（1）北国　山際2（4）

■四日市中央体育館

観客　一、二〇〇

湧永薬品　22（10－7／12－6）13　本田技研鈴鹿

前半は立ち上がりから一進一退の攻防となり本田技研鈴鹿の善戦で大いにゲームを盛り上げたが、後半に入ってからは湧永のスピードとパワーの圧倒的な力でおしきられた。

【本田】		S	得
GK	柴田	0	0
	細野	0	0
FP	山上	7	3
	佐藤	15	6
	喜井	4	0
	水本	1	0
	矢野	1	1
	西田	3	3
	高橋	1	0
	島林	0	0
	佐々木	2	0
	谷元	0	0
		34	13

（審・　）

【湧永】		S	得
GK	今井	0	0
	福井	0	0
FP	津川	2	0
	木野	1	1
	穂積	10	8
	藤本	0	0
	高橋	1	0
	戸田	3	2
	松本	5	3
	山本	6	3
	生駒	5	3
	池ノ上	5	2
		38	22

【PT】湧永　山本、池ノ上共に1（1）本田　田上1（1）

日本ビクター　12（7－5／5－5）10　ジャスコ

前半の2点差が結局勝負の決め手となった。ジャスコ後半1分をのこすところでシュートを決めやっと後半五分五分のところで時間切れとなった。

【ジャ】		S	得
GK	山本	0	0
	辻本	0	0
FP	久保	0	0
	平田	1	1
	松下	10	3
	林	0	0
	金田	2	1
	鈴木	9	2
	河山	6	2
	笠	0	0
	若田	3	0
	横山	2	1
		33	10

（審・鈴木　大橋）

【日ビ】		S	得
GK	鈴木	0	0
	塙	0	0
FP	加藤	9	2
	穂積	14	3
	小島	0	0
	斉藤	0	0
	柴谷	3	1
	伊藤	4	2
	藤原	0	0
	江橋	0	0
	岩城	0	0
	池田	9	4
		39	12

【PT】日ビ　池田3（3）ジャ　松下1（2）

第七週

■岐阜県民体育館

観客　一、三〇〇

大同特殊鋼　23（13－6／10－9）15　本田技研鈴鹿

試合前、好ゲームが展開されることが予想されたが、試合が始まって見ると、全体的に本田に元気が無く、蒲生を中心とする大同の攻撃にあっさりと、手を上げてしまったようなゲーム内容であった。また、大同のディフェンスの固さに本田が簡単にハネ返えされてしまい、本田もシュートにもう一工夫欲しいものがあった。

第6週　第2日　11月4日（土）
熊本市体育館
大同－本田　15：00～16：10
◎立石－北国　16：20～17：20

横浜文化体育館
イーグルス－大崎　17：30～18：40
◎ビクター－日立　19：00～20：00

第6週　第3日　11月5日（日）
静岡県営草薙体育館
◎ジャスコ－大崎　13：30～14：30
湧永－三普　15：00～16：10

第7週　第1日　11月11日（土）
豊橋市民体育館
◎ムネカタ－北国　13：30～14：30
◎ブラザー－大崎　14：40～15：40
日新－三陽　15：50～17：00

第7週　第2日　11月12日（日）（最終日）
名古屋市体育館
◎日立－大崎　13：00～14：00
◎ビクター－ブラザー　14：10～15：10
湧永－大同　15：20～16：30

四日市体育館
◎立石－ジャスコ　14：00～15：00
本田－三景　15：10～16：20

	【本田】	S	得
GK	柴田	0	0
GK	細野	0	0
FP	田上	6	5
FP	佐藤	13	4
FP	喜井	6	2
FP	水本	0	0
FP	矢野	6	2
FP	西田	1	1
FP	高林	1	0
FP	嶋林	0	0
FP	佐々木	6	1
FP	谷元	0	0
		39	15

（審・吉田・西川）

	【大同】	S	得
GK	大関	0	0
FP	中井	11	4
FP	松原	6	2
FP	花輪	6	1
FP	柳川	5	1
FP	大原	10	6
FP	中本	0	0
FP	蒲生	19	8
FP	更谷	0	0
FP	浦田	0	0
FP	小野	2	1
		59	23

【PT】大同 蒲生4（4） 本田 佐藤1（2） 田上1（1）

プラザー工業 17（8－3，9－5）8 立石電機

立石は、ポイントゲッター紀野が傷のため欠場し、チーム全体に活気がなかった。後半にはいり、プラザーの主力小林に対して、立石はマンツーマンで対抗したが、波にのったプラザーの攻撃を防ぐことはできなかった。シュート力に勝るプラザーの順当勝ちであった。

	【立石】	S	得
GK	丸山	0	0
GK	井村	0	0
FP	姫野	5	1
FP	桑原	10	2
FP	平下	6	2
FP	林	3	1
FP	羽立	1	0
FP	橋ノ口	9	1
FP	福永	2	0
FP	藪用	8	1
FP	喜久山	0	0
		44	8

（審・鈴木・大橋）

	【プエ】	S	得
GK	山本	0	0
GK	屋比久	0	0
FP	岩井	2	1
FP	山中	12	0
FP	則武	1	0
FP	小森	9	7
FP	宮平	2	1
FP	植田	5	3
FP	山村	3	1
FP	中川	4	3
FP	川村	1	1
FP	木下	0	0
		39	17

【PT】プエ 小森3（3） 立石 平下1（2）

ジャスコ 21（10－1，11－5）6 大崎電気

中央での単調な攻撃の大崎に対して、ジャスコは持ち前のスピードにのって多彩な攻めをみせ、前期5勝目をあげた。

	【大崎】	S	得
GK	藤村	0	0
GK	梅野	0	0
FP	西	6	3
FP	隅田	2	1
FP	内野	4	0
FP	大場	20	2
FP	佐々木	0	0
FP	石井	6	0
FP	徳渕	0	0
FP	江島	1	0
FP	宮嶋	0	0
FP	根間	0	0
		39	6

（審・奥村・稲石）

	【ジャ】	S	得
GK	久保	0	0
GK	山本	0	0
FP	平田	2	2
FP	松下	7	5
FP	林	4	1
FP	金田	3	2
FP	鈴木	6	3
FP	河田	12	6
FP	笠	1	0
FP	若田	3	2
FP	横山	0	0
FP	辻本	6	0
		46	21

【PT】ジャ 松下1（1） 鈴木1（1） 大崎 西2（2）

■水海道二高体育館

観客 五〇〇

大崎電気 26（11－10，15－13）23 日新製鋼呉

前半立ち上がりから両者共にかなり気合いの入った好ゲームとなった。大崎は前期は一勝を上げているにとどまり、この一戦はどうしても負けられないゲームであった。

結果から、大崎が日新に対する気迫勝ちであった。また両チーム得点争いの中で、大崎長野、日新泉両選手共に8得点が光り、終始ゲームを大いに盛り上げていた。

	【日新】	S	得
GK	三田	0	0
GK	蘭本	0	0
FP	泉	11	8
FP	徳田	7	3
FP	大庭	4	1
FP	吹上	4	2
FP	関本	4	2
FP	脇若	8	2
FP	森	1	1
FP	下茂	11	4
FP	湯中	0	0
FP	高木	0	0
		50	23

（審・斉藤・水山）

	【大崎】	S	得
GK	岡部	0	0
GK	原田	0	0
FP	斉藤	13	5
FP	坂口	1	0
FP	大熊	12	6
FP	新田	1	0
FP	長野	15	8
FP	椿原	2	2
FP	佐伯	3	3
FP	橋本	2	2
FP	金井	0	0
FP	松岡	0	0
		49	26

【PT】大崎 斉藤、椿原共に1 日新 下茂2（4） 脇若1

日立栃木 17（8－2，9－3）5 東北ムネカタ

立ち上がりから、ムネカタ清水が執拗に日立ゴールをねらうが得点に結びつけることができず、逆にリバウンドボールを日立にうまく処理され、日立に速攻を与えてしまう結果となった。

この試合シュート力に優る日立の快勝であった。

	【東北】	S	得
GK	熱海	0	0
GK	海村	0	0
FP	本郷	0	0
FP	近内	1	0
FP	鈴木	4	1
FP	清水	17	4
FP	石田	5	0
FP	加藤	3	0
FP	米野	0	0
FP	落合	0	0
FP	水野	1	0
FP	川音	0	0
		31	5

（審・山内・住尾）

	【日立】	S	得
GK	高橋	0	0
GK	寺沢	0	0
FP	山井	5	2
FP	島田	7	2
FP	吉田	2	1
FP	小根沢	8	6
FP	荒木	4	1
FP	大輪	4	3
FP	山戸	0	0
FP	箕輪	0	0
FP	水上	6	2
FP	毛塚	2	0
		38	17

【PT】日立 山井（1）1

日本ビクター 15（7－6，8－4）10 北国銀行

前半、北国は山際を中心にうまいボール展開で、ポスト、ミドルシュートと変化に富んだ攻めでビクターのディフェンスをおびやかし、ペースを北国のものにした。

後半に入ってからは、ビクターがやはり本来のペースを取り房し北国を圧倒した。

この試合、北国の善戦と言えよう。

	【北国】	S	得
GK	酒谷	0	0
GK	高橋	0	0
FP	庄田	0	0
FP	中山	1	0
FP	本田	1	0
FP	千歩	5	1
FP	山際	14	5
FP	西出	0	0
FP	坂	0	0
FP	崎田	0	0
FP	八木	6	4
FP	木内	0	0
		27	10

	【日ビ】	S	得
GK	鈴木	0	0
GK	塙	0	0
FP	加藤	10	6
FP	穂積	9	1
FP	小島	2	0
FP	斉藤	1	0
FP	染谷	3	1
FP	伊藤	4	2
FP	藤原	0	0
FP	江橋	0	0
FP	岩城	0	0
FP	池田	8	5
		37	15

【PT】日ビ 加藤2（2） 池田3（4） 北国 山際1（2）

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

（男子）大同、（女子）ビクターで後期に臨む

第八週

■駒沢屋内球技場
観客　三、〇〇〇

三景　21（9−12、12−9）21　三陽商会

立ち上がりから両社共に、一進一退の攻防を展開し、三景は鈴木を中心に得点を重ね、一方三陽は主砲関にボールを集め、着実に得点して行くという、両者共に本来の攻撃パターンを繰り返えし、観客を大いに沸かせた。しかしながら、両者共にディフェンスの面でもう一歩というところが、引き分けという結果に終ったのだろう。

【三陽】

	氏名	S	得
GK	吉近	0	0
GK	田村	0	0
FP	近森	8	2
FP	関	19	7
FP	坪子	6	5
FP	緒方	0	0
FP	石原	5	4
FP	梅屋	0	0
FP	鵜沢	3	0
FP	三上	5	3
FP	金子	3	0
FP	小倉	0	0
		49	21

（審・清水・槇田）

【三景】

	得	S	氏名
GK	0	0	小林
GK	0	0	野田
FP	1	4	佐々木
FP	5	11	西窪
FP	7	12	鈴木
FP	3	6	山村
FP	1	2	川島
FP	0	0	島中
FP	0	0	地主園
FP	2	7	村山
FP	2	5	中馬
FP	0	0	吉近
	21	47	

【PT】三景　鈴木2（2）　三陽　関1（2）

大同特殊鋼　19（10−7、9−9）16　湧永薬品

この試合まさにリーグ前期の最終を飾る好ゲームとなった。
ややエキサイト気味のゲーム内容であったが、両チーム共に随所での確実なプレーは、観る側を大いに楽しませた。
結果から見て、昨今の敗退からプライドを気迫に変えた大同の勝利となったが、後期へ期待が大いに持たれたゲームであった。

【湧永】

	氏名	S	得
GK	今井	0	0
GK	福井	0	0
FP	津川	4	1
FP	木野	2	1
FP	穂積	9	4
FP	藤木	3	1
FP	高橋	0	0
FP	戸田	3	0
FP	松本	4	4
FP	山本	9	3
FP	生駒	4	0
FP	池ノ上	3	2
		42	16

（審・下野・斉藤）

【大同】

	得	S	氏名
GK	0	0	柳川清
GK	0	0	大園
FP	3	5	中井
FP	0	1	松原
FP	3	7	花輪
FP	3	4	柳川実
FP	2	3	大原
FP	0	0	中本
FP	8	14	蒲生
FP	0	0	更谷
FP	0	0	浦田
FP	0	0	小野
	19	34	

【PT】大同　蒲生2（3）　湧永　山本1（1）

日本ビクター　16（5−7、7−3）10　立石電機

【立石】

	氏名	S	得
GK	丸山	0	0
GK	井村	0	0
FP	姫野	1	1
FP	桑原	4	0
FP	平林	8	5
FP	羽立	3	2
FP	橋口	1	1
FP	福永	2	1
FP	藪田	2	0
FP	喜久山	0	0
FP	林	1	0
		22	10

（審・大塚・佐分）

【日ビ】

	得	S	氏名
GK	0	0	鈴木
GK	0	0	塙
FP	5	8	加藤
FP	4	10	穂積
FP	0	1	小島
FP	0	0	斉藤
FP	3	4	染谷
FP	1	4	伊藤
FP	0	0	藤原
FP	0	0	江橋
FP	0	0	岩城
FP	3	4	池田
	16	31	

【PT】日ビ「加藤1　池田2（3）」立石　平林1（1）

前半、立石は平林を中心に元気に走り着実に得点を重ね追いすがるビクターを振り切り、後半に持ち込んだが、後半に入っては、やはり紀野の欠場という大きなハンディから攻め手が無くなり、逆にビクターはエース加藤を中心に穂積・染谷らが得点し、立石を大きく引き離し、前半の差をあっさり戻し、快勝した。この試合から今期のビクターは、後半に大きな粘張りを見せていたことがうかがわれ、後期への期待も大いにもたれた。



第3回日本リーグ男子前期成績表

	同	湧	本	日	イ	崎	三	陽	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	差
① 大同特殊鋼	…	○	○	○	○	○	○	○	14	7	0	0	170	112	+58
② 湧永薬品	●	…	○	○	○	○	○	○	12	6	0	1	171	105	+66
③ 本田技研鈴鹿	●	●	…	○	○	○	○	○	10	5	0	2	147	114	+33
④ 日新製鋼	●	●	●	…	○	●	○	○	6	3	0	4	126	145	−19
⑤ 大阪イーグルス	●	●	●	●	…	○	○	●	4	2	0	5	132	138	− 6
⑥ 大崎電気	●	●	●	○	●	…	●	○	4	2	0	5	121	167	−46
⑦ 三景	●	●	●	●	●	○	…	△	3	1	1	5	122	160	−38
⑧ 三陽商会	●	●	●	●	○	●	△	…	3	1	1	5	123	171	−48

第3回日本リーグ女子前期成績表

	日ビ	ジャ	ブ工	立	崎	日立	北	東	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	差
① 日本ビクター	…	○	○	○	○	●	○	○	12	6	0	1	108	69	+39
② ジャスコ	●	…	△	○	○	○	○	○	11	5	1	1	109	66	+43
③ ブラザー工業	●	△	…	○	●	○	○	○	9	4	1	2	93	74	+19
④ 立石電機	●	●	●	…	○	○	○	○	8	4	1	3	86	94	− 8
⑤ 大崎電気	●	●	○	●	…	○	○	○	8	4	0	3	81	96	−15
⑥ 日立栃木	○	●	●	●	●	…	○	○	6	3	0	4	85	79	+ 6
⑦ 北国銀行	●	●	●	●	●	●	…	○	2	1	0	6	68	81	−13
⑧ 東北ムネカタ	●	●	●	●	●	●	●	…	0	0	0	7	43	114	−71

【前期男子個人得点ベスト20】
①関　健三（三陽商会）……49点
②蒲生晴明（大同特殊鋼）……48〃
③佐藤要二（本田技研鈴鹿）……46〃
④福井　稔（大阪イーグルス）39〃
⑤下茂文秋（日新製鋼呉）……36〃
⑤田上敬三（本田技研鈴鹿）……36〃
⑦中井武三（大同特殊鋼）……33〃
⑧穂積豊彦（湧永薬品）……31〃
⑧松本義樹（〃）……31〃
⑧鈴木健文（三　景）……31〃
⑪大原真造（大同特殊鋼）……29〃
⑫西窪勝広（三　景）……27〃
⑫斉藤幸司（大崎電気）……27〃
⑭長野　透（〃）……25〃
⑭高橋精一（大阪イーグルス）25〃
⑭山本伸二（湧永薬品）……25〃
⑰戸田政弘（〃）……23〃
⑱大熊昌巳（大崎電気）……22〃
⑱椿原美春（〃）……22〃
⑳泉喜久男（日新製鋼呉）……20〃
⑳村田幸男（三　景）……20〃

【前期女子個人得点ベスト10】
①松下仁美（ジャスコ）……38点
②加藤美超子（ビクター）……28〃
②清水みよ子（ムネカタ）……28〃
④山際正美（北国銀行）……27〃
⑤西　典子（大崎電気）……24〃
⑥河田栄子（ジャスコ）……22〃
⑥島田さゆり（日立栃木）……22〃
⑧桑原広子（立石電機）……21〃
⑧穂積美保子（ビクター）……21〃
⑧池田三三恵（〃）……21〃

1977年版競技規則の解釈に関する説明

国際ハンドボール協会
競技規則レフェリー委員会
委員長　カール・E・ワング

　IHFのPRCとCCMは何回か会合を開きルールの用語の使い方を慎重に検討した。
　1977年8月コペンハーゲンでのIHF中央講習会および1977／78年シーズンの経験にもとずくルールに関する慎重な討議がこの解釈のベースとして役立った。
　IHFのPRCとCCMでのこれらの検討の結果以下の解釈が公式解釈として、1978年8月1日から有効となった。

1　ゲームに「出場する資格」

　ルール3：3は選手がゲームに「出場する資格」として
――ゲーム開始の時競技場に居りかつスコアーシートに記名されていること。
――2分間（退場）ペナルティーを受けている途中でないこと
（退場ペナルティー中の選手はタイムキーパー／記録係のこの出場確認を得なければならない。退場中は出場資格はないと考えられる。）
　従って公式の「出場する資格」は一般的にタイムキーパー／記録係によって与えられる。
　ルール3：3では1チームには12名の選手がおり、7名以上が同時にコートに出ることは許されないとされている。
　したがって交代の意図が明らかでないまま7名以上の選手がコートに入った場合その選手はスコアーシートに記載されずに、又はペナルティー中に出場した選手と同様のペナルティーを受ける。
　ルール3：3最後の項は「出場する資格」のない選手がゲーム干渉した時その選手は「出場する資格」はあるが、しかし非合法に干渉したとしてペナルティーを与えられるべきである。つまりその選手は少くとも退場させられねばならない。（17：19、18、20）

例：a、チームAは正しく選手7名（ゴールキーパー1名、コートプレイヤー6名）でコートでプレーをしていた交代選手「A3」が明らかな交代の意図なくコートに入った。彼は8人目の選手である。この場合常にタイムアウトを請求する。この選手はコート上で反則は犯してない。
ルール：A3選手は退場。チームAはコート上の7選手で試合続行。チームBにフリースロー。

b、選手「B8」は退場中。40秒後「B8」（又は同チーム選手）がコートに入り重要な反則を犯してチームAの得点チャンスを失わした。
ルール：レフェリーは直ちにタイムアウトの合図。選手「A8」（又は同チーム選手）は出場停止？ チームは重要な反則の故に出場停止のペナルティーを受け、ゲームの残り時間を一名少いコート上の選手でプレーしなければならない。
注：罰せられなかった他の選手はゲームに参加できるしかしコート上の選手の数は残り時間少くなっ数でプレーする。
「B8」選手が介入した時間に対する最初のペナルティーの残りは30秒であったので、チームBは4名のコート選手（とゴールキーパー1名）でゲームを再開始する。しかし30秒後に5番目のコートプレーヤーを送ることができる。
チームAにペナルティースロー

c、チームがペナルティーのため少い数の選手でプレーしており、交代が行なわれていない時にある選手がコートに入った場合その選手にはペナルティーが与えられる。これは正しくない交代の場合にも適用される。

次の表はいろいろのケースを現行ルールとの関連で表にしたものであり、ルールとの関連でレフェリーが行なうべき決定を示したものである。

2　警告

　選手がレフェリーから2回警告を受けたという事実は（i、e、イエローカードを2回示されたという事実）公式抗議の理由とすることはできない。
　ルール17：11のコメントは次のように読むべし。レフェリーは2回以上の警告を選手に与えるべきでない。
　実行上このことはイエローカードを2つ受けることができる。しかしそれは例外的場合のみである。

3　2分間退場を受けたばかりの選手によるスポーツマンらしからぬ行為

　選手が2分間退場を受け、その決定に対し挑発的なゼスチャーやスポーツマンらしからぬ行為で（例肉体的にレフェリーをアタックする。）抗議をした場合その選手はルール17：20により出場停止とすることができる。
　スポーツマンらしからぬ行為をした選手が抗議の時にコート上にあった場合出場停止となる。

4　1チームは1名のゴールキーパーを使わねばならぬ

　原則として、チームはゴールキーパーなしでプレーすることは認められない。それは、次のことを意

コートに入るタイプ	ルール	何スローでゲーム再開か	他に反則がない場合のペナルティー	他に反則のある場合のペナルティー	重要な反則のある場合のペナルティー
1. 間違った交代（初回）相手チームに明白なゴールチャンスなし	3：7	フリースロー又はペナルティスロー	ペナルティーなしチームに通告	2分間	
2. 間違った交代（2回目，3回目等）。相手チームに明白なゴールチャンスなし	3：7	フリースロー又はペナルティスロー	2分間	2分間	
3. 間違った交代（初回）相手チームに明白なゴールチャンスあり	3：7	ペナルティスロー	失格		
4. 同上（2回目，3回目等）	3：7	ペナルティスロー	2分間および失格 *注		出場停止
5. スコアーシートに記載なし	3：3	フリスロー又はペナルティスロー		2分間* および失格？	
6. ペナルティーを助けた選手**	3：3	同上	失格？		
7. ペナルティーを助けた** チームメート	3：3	同上			？個所は記者（境井）には正しく判断できない個所
8. 交代の明らかな意図なしに（8番目の選手）	3：1 3：3 3：6	同上			***

* チームが削減された戦力で2分間プレーするため他の選手がコートを出なければならぬ

** ペナルティー時間の残りが終るまでもう1人の選手がコートを出なければならぬ（？）

*** 他の選手もコートを出てチームはゲーム残り時間を削減された勝力でプレーする。

味する。

a、チームに10名の選手しか居らず、2名のゴールキーパーは大変な選手の損失である場合でも、少とも選手の1名はゴールキーパーとしてスコアカードに記載されねばならぬ。

ゴールキーパーとしてリストに記載された選手は以後ゲームにコート選手として参加してはならない。

b、ゴールキーパー又はコート選手がペナルティーを受けている間チームは6名のコート選手でゴールキーパーなしでプレーしなければならない。

5　競技時間がなくなりつつある時の罰則

ゲームの終り（又は前半の終り）のタイムキーパーのホイルスの合図の前に起った全ての罰はタイムキーパーの合図が罰を示すレフェリーのホイスルより先行していても適用されるべきルールに従って罰さられるべきである。

（レフェリーの決定、スローの実施および結果は全てルール4：7の点推解釈であるべきである。）

6　ペナルティースローに対するゴールキーパーの位置

ゴールキーパーの片足が4メーターラインの後にある限り、キーパーの他の片足および腕はラインの外へ動かすことができる。

7　ゴールの後

状況：チームAはゴールされ、できるだけ早くハーフラインからスローオンしたいと望んだ。レフェリーはスローオン実施のホイスルを吹いた。しかしチームBの選手がまだチームAのゴールエリア内に横たわっていた。チームBはその人の選手がまだチームAのゴールエリア内に横たわっており5人の選手でしか防禦ができないという事実を注意した。

レフェリーはすでにスローオンを許してしまっている。

チームAによる得点は認められるべきでない。スローオンはもう度行なわれるべきである。

8　2人の選手の衝突

両チームからの2人の選手が反則しないで衝突し、ボールがその下に引っかかった。レフェリースローが求められた。

同じチーム選手が反則なしで衝突し、ボールが彼等の間に引っかかった。もしボールが秒後に放されなければ相手チームにフリースローが与えられるでしょう。

この解釈は2人の選手の意図に関係なく適用される。

9　スローアウトおよびゴール・スロー

ゴールキーパーがスローアウト（ボールがプレーの中で生きている時。）又はゴールスロー（ボールがゴールラインの後にそれまであって）しようとしている時非合法な方法で相手チームのゴールキーパーを妨害した選手は2分間退場のペナルティーとなる。

自チームのゴールキーパーがゴールスローをする時そのチームの選手が相手チームのゴールエリアラインとフリースローラインの間に居た場合はそれは原則として反則となる。しかし、その選手がpassive(受け身？積極的行動に出ないこと。)でとどまるか、又はそのエリアを出ようとしている意図を示した場合は罰せられるべきでない。

10　ゴールエリア内の選手

シュート又はパスをこころみた後相手チームのゴールエリア内に着地した選手は相手チームを妨害することなく最短距離をまっすぐにゴールエリアを離れ、ゲームに加わることができる。これはペナルティスロー（7 m）を投げ終った選手にも適用される。

11　フリースローの実施

原則として、ボールがグランド

上にある時は、レフェリーは行なわれるべきフリースローの笛を吹いてならない。ということは選手が正しい位置に居るが、ボールをその前のグランドに置いている場合はいつでも選手にスローを行なうよう命じねばならないということである。

選手が命令に従わない場合ボールの近くに立っている選手に警告を与えるか、（もしそれが繰り返されているならば）2分間退場のペナルティーを与える。

それでもチームがボールの保有状態を続け、いつでもスローできるのであれば、ボールは拾い上げられ、ホイスル。

12　ゲーム終了（又はハーフタイム）

公示時計が使われている場合タイムキーパーが試合終了（又はハーフタイム）のホイスルを吹いた時にその時計は止められねばならない。

13　同点チームの勝敗を決めるためのペナルティースローに対する規定の追加

ヨーロッパカップ規則6cに関連して、次を考慮に入れるべきである。

1チーム当り5本のペナルティースローの第1ラウンドの後も勝負がつかない場合ペナルティースローを行なうよう指名された5人の選手全員が3回目のペナルティースローを行なう前に第2回目のペナルティースローを行なわねばならぬ。

しかしながら第6回目のスロー以降は追加のスローを両チームがやった時先に得点した方が勝となりゲームは終了する。

The Qualities of HANDBALL

The conception of Handball is clear, the game, itselt is elegant and varied and combines all the advantages of a team-sport. Its fundamentals are : skilful handling of the ball, swift physical reactions, fair play.

One of the outstanding qualities of Handball as to the physical influence on the player is that the whole of the human organism is harmoniously trained : for the basic disciplines of running, jumping and throwing are the most important elements constituting Handball. Handball is therefore a sport that develops the youthful boody most favourably, but it also keeps the grown-up players flexible, swift and persevering.

A good handball player must first of all be a gcod runner. The player must be able to start quickly, he must be able to skilfully deceive his opponent, be able to swiftly pick up the ball or catch it in the, he must pass the ball with precision to his colleagues and he must be able to strongly and precisely throw the ball; in short : his body, hirs arms and his legs will have to be trained harmoniously.

The growing popularity of Handball is of course not only due to the fact that it is a healthy game! Another inportant reason certainly is that Handball is played with the hands, the hands, the deftest members of the human body, and that the further equipment needed is comparatively simple. Handball can thus be played by everybody and everywhere, nothing more being needed than a ball, a field of play and two goals.

The harmonious physical traing of the whole of the human organism, the fact that Handball is a rather cheap sport and that there is a comparatively small number of players are not the only qualities of the gama : No other team-sport develops the heart and the lungs so harmoniously and cad correct wrong breathing and its consequences.

The elements of the training are : gymnastics, running, jumping, throwing, handling the ball, tactical instructions and education of the players with a view to fair play.

The Rulea of the Game are well adapted to the character of the game : the training as well as the game thus gain great esthetic and educational values.

世界女子選手権三大陸予選

カナダがアメリカに連勝

〜アメリカ大陸予選〜

アメリカ大陸予選へのエントリーは、カナダ、アメリカの二カ国だけ。

8月24日コロラドスプリングス30日モントリオールで各1試合が行われ、カナダが連勝、代表権を手中にした。

この予選を前に両国は、それぞれヨーロッパ遠征を行ない、意欲のあるところをみせたが、カナダは、モントリオール・オリンピック以後、ハンドボールがすっかり定着した感じ。

モントリオール代表のうち、残っているのは、174cmのテトラウをはじめ、フルトビス、ライル、シャレットぐらいで、新進がかなり育っているようだ。世界選手権への出場は初めて。

一方、アメリカも、国全体のアマ・スポーツ界再編成の動きにのって、ハンドボールも堅実な伸びをみせてきた。

主力は、日本とも戦ったことのあるリンドセイ、フォレストと変わっていない。

▽第1戦

カナダ 8（4—2、4—4）6 アメリカ

▽第2戦

カナダ 12（5—3、7—5）8 アメリカ

アルジェリが初出場

〜アフリカ大陸予選〜

アフリカ大陸の代表を決める大会は、7月20日から27日までアルジェ（アルジェリア）で開かれた第3回アフリカ競技大会に兼ねて行われ、アルジェリア×カメルーンの決勝戦となり、アルジェリアが勝って、初の代表となった。

大会には、全アフリカの地域予選を勝ち抜いた6カ国が参加出場権を得ていたセネガル、マダガスカルは棄権）、三カ国づつ二組の予選リーグのあと、各組一、二位で決勝トーナメントを争った。

ベストフォアに勝ちあがったのは、前回代表のチュニジアをはじめカメルーン、アルジェリア、コート・ジボアールで、チュニジア×アルジェリアの1回戦が、事実上の決勝とみられた。

試合は、立ちあがりからアルジェリアが先手をとりつづけ、後半なかばには8—3と開いた。

このあとチュニジアが反撃して1点差まで追いこんだが、及ばずアルジェリアが逃げ切った。

余勢をかったアルジェリアは、決勝でも攻撃陣が好調、カメルーンを押しやくって〝チェコ行き〟を決めた。

なお、同時に行われた男子も、アルジェリアが勝った。

▽予選リーグA組

アルジェリア 14—8 ナイジェリア

コートジボアール 17—13 ナイジェリア

アルジェリア 17—13 コートジボアール

▽同B組

チュニジア 12—4 エジプト

カメルーン 13—13 チュニジア

カメルーン 13—10 エジプト

▽決勝トーナメント1回戦

アルジェリア 9—8 チュニジア

カメルーン 14—12 コートジボアール

▽3・4位決定戦

チュニジア 17—12 コートジボアール

▽決勝戦

アルジェリア 17—12 カメルーン

韓国、日本を破る

〜アジア大陸予選〜

アジア大陸予選は、日本、韓国、台湾の三カ国によって、6月3日から9日までソウルの「学生体育館」で行われ、ホームコートの利を活かした韓国がモントリオール・オリンピック5位の日本にストレート勝ち、初のアジア代表となった。

高校、学生、社会人など最近の日韓交流で、韓国の優勢がつづき日本の苦戦は、ある程度予想されたものの、ナショナルチーム同士の対決では、まだまだ、日本に分（ブ）があるとみられていた。

ところが、幕をあけてみると、韓国は、予想以上に強化の成果があっており、従来の個人技主体から大きく脱皮、日本のお株を奪ろスピード戦法で、威力を発揮した。

日本は、モントリオール代表十二人のうち六人が引退、対韓国戦は二試合とも、前半のリードをキープ出来ず、後半あっさり主導権を奪われて押し切られ、〝世界〟を驚かす番狂わせとなった。

▽第1日（6月3日）

韓国 37（18—4、19—8）12 台湾

得	韓国（身長）		台湾（身長）	得
0	安美玉(167)	GK	朱蓮華(161)	0
0	丁順福(169)	GK	劉美貞(164)	0
5	李明淑(164)	FP	楊美芳(165)	3
0	張順福(160)	FP	顧玉玲(170)	5
3	梁玉姫(166)	FP	劉月桃(172)	0
0	朴妙順(169)	FP	鄭懐敏(166)	4
3	金善姫(168)	FP	許艶秋(160)	0
2	李相玉(166)	FP	黄恵敏(176)	0
5	李南子(177)	FP	馮美華(163)	0
4	張泉姚(169)	FP	宋碧珠(160)	0
10	金明恵(159)	FP	劉麗淑(165)	0
5	任昌淑(161)	FP	李麗鳳(159)	0
37	(6)	PT	(1)	12

▽第2日（6月4日）

日本 30（16—4、14—11）15 台湾

得	日本（所属身長）		台湾	得
0	山本（プラザー・165）	GK	朱蓮華	0
0	鈴木（ビクター・171）	GK	劉美貞	0
4	加藤（ビクター・163）	FP	楊美芳	3
6	松下（ジャスコ・163）	FP	顧玉玲	4
4	小森（プラザー・166）	FP	劉月桃	2
7	河田（ジャスコ・166）	FP	鄭懐敏	3
2	穂積（ビクター・168）	FP	許艶秋	0
5	紀野（立石電機・166）	FP	黄恵敏	1
1	斉藤（ビクター・156）	FP	馮美華	0
0	清水（ムネカタ・164）	FP	宋碧珠	2
0	藤井（保土谷ク・164）	FP	劉麗淑	0
1	横山（東京重機・159）	FP	李麗鳳	0
30	(5)	PT	(1)	15

▽第3日（6月5日）

韓国 17（7—9、10—4）13 日本

得	韓国		日本	得
0	丁順福	GK	鈴木	0
0	安美玉	GK	山本	0
2	李明淑	FP	紀野	0
3	金順淑	FP	松下	6
6	李柏玉	FP	加藤	2
0	朴妙順	FP	河田	2
1	金明恵	FP	穂積	0
2	梁玉姫	FP	斉藤	2
3	金善姫	FP	清水	0
0	張泉姚	FP	小森	1
0	任昌淑	FP	横山	0
0	李南子	FP	藤井	0
17	(4)	PT	(3)	13

△第1次リーグ順位▽①韓国②日本③台湾

日本の雪じょよく成らず

▽第4日（6月7日）

韓国 41（20—3、21—5）8 台湾

得	【韓国】		【台湾】	得
0	丁順福	GK	朱蓮華	0
0	安美玉	GK	劉美貞	0
7	任昌淑	FP	楊美芳	1
4	金明恵	FP	顧玉玲	1
0	朴妙順	FP	劉月桃	2
2	李明淑	FP	鄭懐敏	3
1	張順福	FP	許艶秋	0
8	李相玉	FP	黄恵敏	1
6	梁玉姫	FP	馮美華	0
3	金善姫	FP	宋碧珠	0
0	李南子	FP	劉麗淑	0
10	張泉娩	FP	李麗鳳	0
41	(7)	PT	(1)	8

▽第5日（6月8日）

日本 30（16―2、14―4）6 台湾

得	【日本】		【台湾】	得
0	鈴木	GK	朱蓮華	0
0	山本	GK	劉美貞	0
9	小森	FP	楊美芳	0
5	加藤	FP	顧玉玲	4
6	松下	FP	劉月桃	0
2	河田	FP	鄭懐敏	1
3	穂積	FP	許艶秋	1
4	清水	FP	黄恵敏	0
0	横山	FP	李麗鳳	0
0	藤井	FP	宋碧珠	0
1	斉藤	FP	劉麗淑	0
0	紀野	FP	馮美華	0
30	(8)	PT	(1)	5

出場16カ国揃う

アフリカ、アメリカ、アジア大陸各予選の終了で、今冬11月30日から12月10日までチェコで開かれる第7回世界女子選手権の出場国12チームが出揃った。

予選リーグの組み分けは次のとおり。

▽A組、東ドイツ、ユーゴ、ポーランド、韓国。

▽B組、ソ連、チェコ、オランダ、アルジェリア

▽C組、ハンガリー、ポーランド、西ドイツ、カナダ

▽第6日（＝最終日、6月9日）

韓国 19（10―6、9―11）17 日本

得	【韓国】		【日本】	得
0	丁順福	GK	鈴木	0
0	安美玉	GK	山本	0
0	李明淑	FP	加藤	3
6	金順淑	FP	松下	6
0	任昌淑	FP	小森	3
6	李相玉	FP	河田	1
4	金善姫	FP	紀野	4
1	梁玉姫	FP	斉藤	0
2	金明恵	FP	清水	0
0	張泉娩	FP	穂積	0
0	朴妙順	FP	横山	0
0	李南子	FP	藤井	0
19	(0)	PT	(5)	17

〈最終順位〉①韓国4戦全勝②日本2勝2敗③台湾4敗

〈個人得点ベスト5〉①松下（日本）24②李相玉（韓国）23③小森（日本）17④張泉娩（韓国）16⑤任昌淑（韓国）15

○……対韓国1回戦で見せた日本の試合ぶりは、コーチングスタッフが心配していたように、波がありすぎた。

先手をとりつづけていた日本は15分すぎ、李相玉に二本のPTを決められ同点とされたが、残り5分になって、松下のPTと、斉藤のゴールで2点差、主導権を握ったかにみえた。

ところが、後半開始後の10分間まったく攻撃のリズムが整わず無得点、この間に韓国の反撃を受け6分9―9から、一気に3点差をつけられた。

15分すぎ、加藤、小森、松下らで13―13に追いついたが、そのあと再びシュートミスや、出足の鋭さを欠いて、相手ペースとなり、残り5分は、一方的に攻めこまれた。

リマッチ方式（二回戦制）なのだから、攻撃不調の時は、せめて守りに力を注ぎ、失点（リード差）を少くするのが常とう手段だが、強引に仕掛けすぎて、かえって傷口が拡げたのは肯けない。

○……2回戦。日本が代表権を得るには「5点差以上の勝利」が条件。

その気負いが、韓国のつけこみを許し、10分1―6と大きなハンデを背負った。

しかし、さすがに、日本は、ここでみごとな反発をみせ、18分6―6に追いついたあと、21分9―6、24分5秒11―8と得点をつみ重ね、このままのペースならば、後半なかば「5点差」も夢ではないと思わせた。

ところが、前半終了寸前、韓国の鮮やかなポストプレーに1点を奪われ、2点差に迫られたのが、結果的には、大きな〝重圧〟となった。

第1戦で逆転勝ちしている韓国にとって、この1点は、押しこまれかけた態勢を立てなおす貴重なものとなり、後半5分すぎからの一気の反撃につながった。

韓国は9分12―12から、10分10秒のPTをエース李相玉が決めてリード、例えば、日本の反撃をうけても、残り時間に6点差をつけられることはない、という余裕を生じさせた。

場内の熱気は高まるばかり。日本も必死の反撃を試みるのだが、もはや勢いづいた韓国の力を食いとめることはできず、思いもかけなかった二連敗、世界選手権六回連続出場の夢を断たれた。

なお、この大会のレフェリーはノルウェーのボルスタット、ラセン組が担当した。

予選負けは二度目

日本のナショナルチームが、韓国に敗れたのは、男女を通じて、今回が初めて。

全日本女子は、一九六五年の第三回世界女子選手権の予選で、当時はまだ地域予選制が布かれていなかったことから、チェコと対戦9―17、5―17で敗れ、本大会への望みを断たれたことがある。

しかし、この時は、本大会出場国のうち、ソ連が棄権したため、いちど失格した日本が〝繰り上げ当選〟となり、世界選手権には参加できた。

◇) ◇ (◇) ◇ (◇) ◇ (◇

プレス・ルーム ＜12＞

杉　山　茂

――NHK運動部―

■「全国連盟」発展的解消論

僕は、以前から、いわゆる＜全国連盟＞という団体は、要らないのではないか、と思っている。

いまは、学生、教職員、実業団自衛隊、高校と五つの全国連盟があり、さらに、社会人あるいはクラブ、高専、それに中学も、こうした組織を造ったら、という話が出ているそうだ。

現存五団体のなかで、高校（全国高体連ハンドボール部）は、学校教育のなかでの活動という、日本ハンドボール協会の事業とは、やや趣きを異にした目的、方針があり、〃別の組織〃を造っていたほうが、むしろ、よいのだが、あとの連盟は、発展的解消して、日本協会内に包含してしまったらどうか。

こういう話を、それらの連盟の人にすると「インカレ（全日本学生選手権）は、どうするのだ」とか、「実業団リーグは」などという。そうした事業は、すべて、日本協会の手で行なえばよい。簡単なことである。

今だって、これらの団体のチャンピオンシップは、日本協会が主催者の一員になっており、学生チャンピオンにも、教職員チャンピオンにも、日本協会からの優勝カップなり、旗が授与される仕組みではなかったか。

日本協会内に「学生委員会」をはじめとする種別専門委員会を設けておけば、それぞれの分野独自の問題、課題を解決することができるだろうし、そこへ加わる人材にもバラエティがつくというものだ。

今のままでは実連の役員は、どうしても実業団関係者になるし、学連の役員は大学ＯＢに〃制限〃される。

日本協会の一委員会にすれば、こうした狭さがなくなり、その事実も、目を見晴らすことができるだろう。

例えば、こういうことが起きている。

フランス協会からの提唱で、来春、ポリネシア地域へ、フランス－日本の帯同遠征が企画され、両国とも男子ナショナルチームを派遣することが決まっていたが、最近になって、日本側は、ナショナルの事業ふくそうから、「学生ナショナル」を送ることで、フランス側の了解をとりつけた。

ここまでは、まあいい。ところが、よく聞いてみると、「学生ナショナル」を選考して編成するのは、全日本学連だそうではないか。

つまり、事業一切を、日本協会は学連へ委せたのだ。言葉を悪くすれば、押しつけた、ともとれなくない。

外国の場合、単独クラブ以外の事業は、ほとんどがその国の協会の仕事である。

だから、世界学生選手権に出場するチームの監督、コーチも、ナショナルチームのスタッフと、たいてい同一なのだ。

例え、人が代っていても、それは、ナショナルチームのコーチングスタッフのなかの「学生担当」という役目の人が就く。

世界ジュニア選手権が設定された時、日本協会の一部の役員は「この問題は、高体連に委せよう」といっていた。

ジュニアにしろ、ニースにしろ一国を代表するチームの＜責任＞は、国の協会がとるのが、常識である。

＜全国連盟＞があるがために、こうした、わけの判らぬことが起きかける。

せっかく始めた春の「全国高校選抜大会」が、高体連とは切り離された日本協会の事業だという認識が、いまだに薄いのもその一例である。

高校界のことも、学生のことも社会人、実業団のことも、すべて日本協会が考える、という姿勢があってこそ、初めて、ハンドボール界の前進が企れるのだ。

いきなり、発展的解消だの、包含だのというと、戸まどいもあろうし、反発もあろうが、いちど、考えても悪くないテーマのように思う。いくらでも、メリットはお教えできるつもりだ。

■高校生の特定マン・ツウマン

「高校生の試合で、相手チームのエースアタッカーに、マン・ツウ・マンを掛ける傾向が目立ちますね。どう思います？」――そんな質問を最近うけた。

かけ引きに長じたチームを「巧い」と評価しがちな、日ごろの僕らの姿勢をつかれたようでもあり、ちょっと返答に困ったが、あまりにも最近の高校チームが、技巧へ走りすぎている、ということを含めてなら、「して欲しくない」というのが僕の答えである。

特定選手にマン・ツウ・マンを採るのは、ルール違反ではないし、むしろ、この技術の発生を探れば、〃高等戦術〃のうちに、入るかもしれない。高校界は、そこまで来ているのだという人もいるだろうが、それだけの戦略を用いるよりも、高校生には、もっともっと貴重な〃武器〃があるではないか。

鍛えぬかれた肉体、それに若さだ。僕は、高校の試合は、それをぶっつけ合うことだけで充分だと思う。

敬遠のフォアボールにも似た特定マン・ツウ・マンは、まっ向からの激突を身上とする高校ハンドボールにそぐわない、と考えるのは、精神的すぎるのだろうか。

全国中学生

拝島（東京 男子）と小川（熊本 女子）勝つ

第7回全国中学生大会は、八月十八、十九の両日（十七日に開会式）、愛知県蒲郡市の三谷中学校グラウンドに、男女各十六チームが参加して炎天下に熱戦をくりひろげた。

男子は、各チームの主力選手がいちだんと大型化、迫力のある攻防戦がつづいたが、関東代表の拝島（東京）が、東海代表の名五ク（愛知）を後半、突き放して初優勝。

女子は、有力とみられた小川（熊本）が、評判どおりのチーム力で四年ぶり二度目（第三回は小川ク）の優勝を飾った。

▽男子1回戦

蒲郡選抜（開催地・愛知）20（13－5、7－7）12 城南（東北・岩手）
芦城（北信越・石川）13（8－3、5－6）9 神森（九州・沖縄）
拝島（関東・東京）18（7－3、11－3）6 四日市南ク（東海・三重）
水川（熊本）14（9－2、5－3）5 潟東（北信越・新潟）
月州（近畿・大阪）11（7－4、4－4）8 廿日市（中国・広島）
名五ク（東海・愛知）15（9－7、6－3）10 釧路北（北海道）
吉川南（関東・埼玉）12（5－6、7－2）8 桜町HBク（四国・香川）
下松（中国・山口）14（7－4、7－3）7 金屋（近畿・和歌山）

▽同準々決勝

月州 9（2－3、7－4）7 氷川
名玉ク 18（13－7、5－4）11 吉川南
下松 14（6－4、8－5）9 蒲郡選抜
払島 18（9－6、9－10）16 芦城

▽同準決勝

名五ク 13（9－4、4－4）8 月州
拝島 13（9－2、4－3）5 下松

▽同決勝

拝島 17（10－6、7－6）12 名五ク

得	【拝島】		【名五】	得
0	宇田川	GK	鬼頭	0
0	海賀	GK	浅野	0
0	薄井	FP	大橋	2
0	市村	FP	佐藤	5
0	木村	FP	花村	0
4	野崎	FP	犬飼	1
2	清水	FP	竹田	3
3	江沢	FP	原	1
8	大木	FP	佐竹	0
0	田野倉	FP	浜田	0
0	石川	FP	伊藤	0
0	前田	FP	大矢	0
17	(0)	PT	(3)	12

（審・本多・細井）

熊本代表が5連勝

▽女子1回戦

小川（熊本）10（6－4、4－2）6 八潮田（関東・埼玉）
金屋（近畿・和歌山）13（7－5、6－3）8 郡山一（東北・福島）
住吉（中国・山口）13（4－5、9－2）7 蒲郡選抜（開催地・愛知）
光陽（北信越・福井）8（6－1、2－0）1 玉藻（四国・香川）
伊奈（関東・茨城）22（12－2、10－4）6 桔梗が丘（東海・三重）
小林（九州・宮崎）14（4－1、10－1）2 釧路鳥取（北海道）
彦根西（近畿・滋賀）8（1－5、7－2）7 落合（中国・岡山）
寺井（北信越・石川）11（8－3、3－3）6 汐路（東海・愛知）

▽同準々決勝

小川 9（6－3、3－2）5 金屋
住吉 8（4－5、4－2）7 光陽
伊奈 17（8－4、9－0）4 小林
彦根西 7（6－1、1－5）6 寺井

▽同準決勝

小川 9（7－2、2－3）5 住吉
伊奈 11（6－4、5－4）8 彦根西

▽同決勝

小川 7（3－2、4－2）4 伊奈

得	【伊奈】		【小川】	得
0	小川	GK	岩井	0
0	中山	GK	稼	0
1	小口	FP	河田	0
0	石塚	FP	松村	4
2	川田	FP	上江	1
0	吉葉	FP	中村	2
0	井上	FP	那須	0
1	渡辺	FP	橋田	0
0	坂本	FP	塚田	0
0	水田	FP	中石	0
0	長塚	FP	城下	0
0	寺田	FP	上田	0
4	(0)	PT	(0)	7

（審・角・富田）

小学生からの球歴誇る

○……女子で熊本県代表が5連勝を飾った。

選手のほとんどが、小学生からの経験者というあたり、いかにも〝ハンドボール王国〟らしい。

平井微子監督は「県代表が4年連続優勝しているだけに、負けてはならないという気が先立って、決勝は固くなりました。自分たちの、クラブ活動の一年間の総まとめということで、この優勝は、選手たちにも、思い出深いものになるでしょうと話していた。

全国ハンドボール少年団大会に参加して

正色ハンドボールスポーツ少年団　長田　多喜

私たちスポーツ少年団は、乗鞍

第7回

全国中学生ハンドボール大会

●日時　1978年8月17～19日

●場所　三谷中学校（愛知県蒲郡市）

パルパル エブリボディ。



5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

ごぞんじですね、ラッタッタ。
ロードパル ——— 標準現金価格 ￥59,800

クイックスタート、とってもべんり。
ロードパル・L ——— 標準現金価格 ￥64,800

乗るかたへの心くばりがいっぱい。
パルフレイ ——— 標準現金価格 ￥75,000

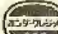
しゃれたスタイル、タウンで似合う。
パルホリデー ——— 標準現金価格 ￥79,000

ヤングの感覚、ナウなフィーリング。
パルディン ——— 標準現金価格 ￥79,000

ヘルメットをかぶろう HONDA

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 原付免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。



わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●ＴＥＬ鈴鹿0593：78－1212〈代表〉

青年の家に二泊三日のハンドボール少年団大会に、参加しました。
愛知県からは、三団五十名が参加しました。
第一日は入所式、オリエンテーション夕食後、体育館に全員が集まり、交歓会が開かれ、各団のしょうかいなど、全員で歌をうたったり、ゲームなど、楽しい時をすごしました。第二日目は、交歓試合とキャンプファイヤー、野外活動がありました。
交歓試合は、午前と午後にわかれて、おこなわれました。
男子は午前中におこなわれ、私たちは、午後からです。
男子が交歓試合をしているとき私たちは野外活動（ハイキング）で男子の試合を応援できなかったことが、残念でした。
私たち正色ハンドボールの女子は二名しか参加しなかったので、豊橋から参加した五名と一チームを編成して、試合に参加しました
参加チームは、笠松がA、B、白子と私たちの四チームで、リーグ戦を、おこないました。
よく練習をしている笠松、白子に対して、昆成チーム、かなしさ残念ですが。
成績は、四位でした。
夜は、キャンプファイヤーです
正色ハンドボールの「たいまつ」を持つ人が、なぜか、この私になってしまって、……。いっしょうけんめいに、点火する時に言う言葉を暗記していました。
「大きい希望をもって、この火を燃します。」と、小さな声で〝ブツブツブツ〟まるでおきょうをとなえているみたいに……。
とうとうまわってきた。胸がドキドキ、足が、ガクガク、もう、足がすくんでいた……。
でも、終わったら〝ホッ〟として、みんなといっしょにさわぎまわっていた。
キャンプファイヤーは、この大会の中で、一番楽しい思い出となりました。
三日目の朝、起きて、朝のつどいに行くと西川先生が、私と楠瀬さんを呼んで「退所式にお礼の言葉をいってほしい。」といわれ、楠瀬さんといっしょにひきうけ、練習をしました。
午前中は、交歓試合がおこなわれました。
私の団の男子は、三チームリーグ戦でも、一番強く二勝しましたが、残念ながら、女子はまたもやまけてしまいました。
私たちが帰る時間が来た。
青年の家の前に、全員が集まり退所式です。楠瀬さんと二人で前に出て、青年の家に対してお礼のあいさつとわすれな草の歌を歌いました。
とても楽しい二泊三日でした。

第5回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会

□8月21日、22日
□岐阜県体育館

▽一回戦
鳥羽（東海北陸A） 18—13 明石（近畿）
岐阜（開催県） 25—4 釧路（北海道）
一関（東北） 14—5 育英（関東信越）
宇部（中国） 16—9 鹿児島（九州）
沼津（東海北陸A） 12—11 宮城（第北）
富山（東海北陸B） 26—14 高知（四国）
舞鶴（近畿） 16—9 桐蔭学園（関東信越）

▽同二回戦
鳥羽 24—23 津山
岐阜 17—10 一関
宇部 22—11 沼津
舞鶴 10—9 富山

▽同準決勝
岐阜 23（10—6、13—3）9 鳥羽
宇部 22（10—9、12—9）18 舞鶴

▽同決勝
岐阜 15（9—6、6—8）14 宇部



☆★☆★☆★☆★☆★☆★

海外トピックス

杉山　茂
（NHK運動部）

ハンガリーが好調示す

ハンガリー女子国際

7月にめずらしく女子のビッグトーナメントが行われた。

東欧四国にオランダ、ノルウェーの参加した「ハンガリー・カップ」で、世界女子選手権のトライアルゲームの一つに数えられたほど。

優勝は、昨シーズンから安定した試合をつづけている地元ハンガリーが飾り、レルケス、ステルビンスキーらの攻撃陣は、5試合で103点をたたき出した。

若手に大器を揃えているユーゴの健闘も目立ち、〝本番〟までにどこまでまとまりがあるか、注目される。

ルーマニアは、いぜん低迷から脱し切れないようで、この大会も2引き分け3敗、わずかに、ミクロスが25ゴールをあげて得点王、一人、気を吐いた。

トライアルゲーム第二戦ともいうべき大会は9月19日からヴィルナ（ソ連）に、ユーゴ、ソ連、東ドイツら6カ国が集って行われる予定。

ルーマニア	18－18	ポーランド
ハンガリー	27－11	オランダ
ユーゴ	19－14	ノルウェー
ポーランド	15－10	ノルウェー
ハンガリー	14－13	ルーマニア
ユーゴ	14－12	オランダ
ルーマニア	14－14	オランダ
ハンガリー	28－14	ノルウェー
ユーゴ	20－14	ポーランド
ユーゴ	19－12	ルーマニア
ハンガリー	18－18	ポーランド
オランダ	14－13	ノルウェー
ポーランド	14－14	オランダ
ノルウェー	17－13	ルーマニア
ハンガリー	16－11	ユーゴ

【順位】①ハンガリー4勝1分②ユーゴ4勝1敗③ポーランド1勝1分3敗④オランダ1勝2分2敗⑤ルーマニア2分3敗⑥ノルウェー1勝4敗

ソ連、「世界選抜」に完勝

二年ぶりに編成されたIHFオールスターズ(男子)が、ソ連ナショナルに完敗、ヨーロッパのファンを沸かしている。

ソ連にハンドボールが伝来して50周年になったのを記念（一説には、ソ連協会50周年といわれるが――）して7月13日、ウクライナの首都キエフで行われた特別試合で、IHFオールスターズは、今春二月の世界選手権Aグループの上位10カ国から13選手がリストアップされ、イオン・クンスト氏（ルーマニア、IHF技術委員）が監督をつとめた。

スターズには、東ドイツ勢や、デッカルム(西ドイツ)、ビルトラン（ルーマニア）らの巨砲が参加せず、過去三回のチームより、スケールが小さかったが、それにしてもソ連の気力はすばらしく、スターズはいちどもリードを奪えぬまま、退けられた。

IHFオールスターズの通算成績は、これで4戦2勝1分1敗。

ソ連 23（11－13 12－5）18 IHFオールスターズ

（スターズ・メンバー）▽監督、クンスト（ルーマニア）▽GKベヌ(ルーマニア)、イエプセン（デンマーク）▽FPベステベ、アーレット(以上西ドイツ)、ミルヤク、セルダルジッチ、クリホカビッチ(以上ユーゴ)、D・ニールセン、ベルグ(以上デンマーク)、クレムペル、カルジンスキー（以上ポーランド）、コバクス(ハンガリー)、エリクソン（スウェーデン）

久々にフルエントリーか

今年のヨーロッパ杯

ヨーロッパ各国のトップクラブによる恒例の勝ち抜き戦、第19回（女子第18回）ヨーロッパ・カップ、第4回（女子第3回）カップ・オブ・カップスは10月9日から熱戦の幕をあけ、来春4月まで、ファンの注目をあびることになるがこのほど発表された男子のエントリーによると、昨シーズン欠場したソ連、ルーマニアも参加、久々にフルエントリーの盛況となりそう。

ヨーロッパ・カップ（各国チャンピオンチーム）には、チェスカ（ソ連）、ディナモ・ブカレスト（ルーマニア）、エムポール・ロストック(東ドイツ)、カルピサ・アリカンテ(スペイン)、グロスバルスタット(西ドイツ)らの強豪に、キルクバイ(イギリス)、ネイスチン・ソロスカフン(ファロー諸島)らの〝新顔〟が加わり、来日したことのあるドロット・ハルムスタード（スウェーデン）も上位を目指している。

カップ・オブ・カップス（各国カップ戦1位チーム）には、おなじみのVfL・グンメルスバッハ(西ドイツ)、MAI・モスクワ（ソ連）のほか、ユニオン・クレムス(オーストリア)、ハポエル・ラマッガン（イスラエル）などの名門が、ひしめくように並んでいる。

ルブキング、新天地へ

かつての西ドイツ、というより世界のスーパースターであったヘルベルト・ルブキングが、今シーズンから西ドイツの三部リーグTV・レムゴのコーチに就任した。

8年前名門GW・ダンケルセンから、無名のTUS・ネテルシュタットに引き抜かれ、ネテルシュタットを、みごとに全国リーグ入りさせた彼は、今度は、さらに弱少のクラブのコーチに招かれたのである時にはプレーもといわれているというが、はたして、天才的プレイヤーといわれたルブキングが、指導者としてどのような手腕をみせるか、西ドイツのファンは大きな興味を寄せている、という

――8月休刊のお詫び――

毎号御愛読頂いている方々へ―今回に限り8月号を休刊とし、8月号に代り新年号（へ明年1月号）の発刊を予定しておりますので、ここに謹んでお詫びを申し上げますと共に何とぞ宜しく御了承の程お願い申し上げます。

委員長　小松原　保彦

男子12回・女子5回

日韓高校 ハンドボール競技 交歓試合 昭和53年度

日時●1978年8月19日㈯ 14:30
場所●北九州市・西日本総合展示場

8月17日　熊本・水前寺体育館

▽女子

忠州女子商業高校（韓国） 15（6－9、9－2）11 熊本女子商業高校（日本）

前半は一進一退の好ゲームとなる。両チーム共によく走りチャンスを確実に点に結びつけていた。日本側はエース松岡のステップシュートが○えて随所でこれを決め、そのポイント分だけ前半を韓国に上まわった。

後半に入ってから日本側エース松岡は韓国に徹底的にマークされ攻め手にこと欠く間に逆に韓国側に得点を簡単に許してしまい日本はわずかに点を返すにとどまり、韓国の一方的なゲーム展開となってしまった。

写真①



写真②



▼男子

大田体育高校（韓国） 23（12－8、11－9）17 熊本選抜（日本）

前半立ち上がり日本はコンビによるスカイプレーと速攻で先行したが、若干ディフェンスに崩れが見え韓国に連続PTを与え13分過ぎには5－5と同点に持ち込まれその後もスピードとパワーあふれる韓国が日本を圧倒。

後半も韓周旭を中心とした早い展開で15分過ぎには20－11と大きく引き離され、日本の中盤以後の反撃も及ばず結局6点差で試合を終了。この試合韓国の韓周旭はPT2本を含む9点を上げた。

写真③



8月19日　福岡西日本総合展示場

▽女子

忠州女子商業高校（韓国） 23（14－2、9－5）7 福岡県選抜チーム（日本）

前半立ち上がりから韓国は持ち前の速い攻撃で終始日本を圧倒、日本は青谷の4点、辻の2点、森の1点だけにとどまった。

▼男子

大田体育高校（韓国） 14（6－6、8－5）11 小倉西高校（日本）

【写真説明】3枚いずれも8／19西日本総合展示場での男女のゲームの一コマ（写真①、②男子ゲーム、③女子ゲーム）

新発売「ハンドボールスペシャル」

世界を制したスペシャル・ラバーシェルソールとは!?

●adidasは世界のスポーツシューズ総合メーカーです。●adidasの3本線はオリジナルです。

ヒールカウンター

Napoli

3155ナポリ
(赤×白) ¥7,500
●モデル「アテネ」の色違い

Athen

3150アテネ
(青×白) ¥7,500
●ペロアレザー甲皮
●シエルソール

3本線

■ペロアレザー甲皮。つま先、かかと強化。
■スペシャル・ラバーシェルソールは、3つの吸盤とストップ、回転グリップ、各機能をもつ3ゾーンにわかれ、床を正確に、そして安定感ゆたかにとらえ、その結果、あなたは、スピードとパワーに乗った大胆なプレーを、狙い通りに決められます。また、このソール構造は、関節への衝撃からくる傷害を防ぎます。
■つま先部には、9個の通気孔があり、靴内の熱気からくる疲れを抑えました。靴舌にも通気孔を採用。
■足首、かかと、靴舌に、はきごこちを高めるパッドを採用。

Hand ball Special

(青×白) ¥19,000

adidas®

●お求めは adidas 特約店で。

兼松江商株式会社
兼松スポーツ用品株式会社

第29回全国高校ハンドボール選手権大会・各地予選会報告……②

長崎県高校総体　6／3～6／5　佐世保商，佐世保西高

▼男子1回戦
西彼高 30—12 波佐見
鹿工高 10—3 口加高
瓊浦高 13—8 佐世保北高
佐世保西高 33—5 佐世保工定
佐世保東商 19—13 西海高
長北高 14—10 佐世保商高
日大高 18—1 造大付

▼同二回戦
長崎工高 25—9 西彼高
鹿工高 15—11 瓊浦高
佐世保西高 31—7 佐世保東高
日大高 27—11 長北高

▼同準決勝
長崎工高 18—16 鹿工高
佐世保西高 17—12 日大高

▼同決勝
佐世保西高 21（9—1、12—7）8 長崎工業高

▽女子一～二回戦
有馬商 9—6 佐世保西高
島原農高 15—2 西彼高
長北高 6—3 有馬商
佐世保北高 6—4 日大高
佐世保商高 39—0 佐世保女高

▽同準決勝
島原農高 11—3 長崎北高
佐世保商高 22—4 佐世保北高

▽同決勝
島原農業高 11（7—2、4—0）2 佐世保商業高

第26回大分県高校総体　6／3～4　鶴崎工高体育館

▼男子一回戦
大分東 25—4 別府青
日田商 11—9 国本農
雄城台 11—6 国東高

▼同二回戦
鶴見丘 7—5 鶴崎工
大分電波高 10—7 大分東
大分商 12—10 雄城台
鶴崎高 18—4 日田商

▼同準決勝
鶴崎高 9—6 鶴見丘

▼同三位決定戦
鶴崎高 8—3 大分商

▼同決勝
大分電波高 10（5—2、5—2）4 鶴崎高

【大分電波は初出場】

▽女子一～二回戦
別府青山高 8—1 高田出原分
佐賀関 9—3 玖珠農
雄城台 11—3 中津北

▽同準決勝
雄城台 8—1 佐賀関
大分東 19—3 別府青山高

▽同三位決定戦
別府青山高 7—5 佐賀関

▽同決勝
大分東高 13（7—2、6—3）5 雄城台高

【大分東は12回目の出場】

第31回青森県高校総体　6／17～6／19　青森高校他

▼男子一回戦
三本木 18—12 十和田工高
五所川原高 14—6 弘前南
青森商 16—14 七戸高
鰺ケ沢 24—8 五所川原工
柏木農 13—8 青森東
野辺地 13—6 野辺地工高

▼同二回戦
三本木 14—13 青森高
青森商 16—10 五所川原高
柏木農 17—6 鰺ケ沢
野辺地 13—12 青森南

▼同準決勝
青森商 11—9 三本木
野辺地 18—11 柏木農

▼同決勝
青森商高 12（7—4、5—4）8 野辺地高

▽女子一回戦
青森中央高 6—2 野辺地工高
七戸高 14—1 青森東
野辺地 10—2 三本木

▽同準決勝
青森西 26—0 青森中央高
野辺地 10—5 七戸高

▽同決勝
青森西高 10（4—0、6—1）1 野辺地高

第31回群馬県高校総体　6～11～18　藤岡高・吉井高

▼男子一回戦
吉井高 26—9 桐生高
藤岡高 23—3 桐生工
富岡高 29—4 前橋工
下仁田 14—13 前橋商

▼同準決勝
富岡高 24—8 下仁田
吉井高 16—15 藤岡高

▼同決勝
富岡高 19（10—2、9—5）7 吉井高

【富岡は3年連続16度目の出場】

▽女子一回戦
高崎市女 7—4 高崎女
前橋市女 9—8 前橋東商
佐藤学園 27—1 西邑楽

▽同二回戦
吉井高 16—5 佐藤学園
下仁田 11—5 桐生女
前橋商 9—4 高崎市女
群女短大付 15—10 前橋市女

▽同準決勝
群女短大付 25—4 前橋商
吉井高 20—7 下仁田

▽同決勝
吉井高 11（5—3、6—5）8 群女短大付属高

【吉井高は初優勝、初出場】

茨城県予選　6／24～25　土浦一高、土浦工高体育館

▼男子一回戦
笠間高 30—7 波崎高
江戸崎西高 36—15 茨城高
麻生高 38—7 鬼怒商
太田一 24—15 石岡一
磯原高 22—10 玉造工
土浦一 28—22 水海道一高

▼同二回戦
笠間高 20—11 岩井高
江戸崎西高 25—23 土浦一
麻生高 26—11 太田一
土浦工 20—15 磯原高

▼同準決勝
笠間高 24—23 江戸崎西高
麻生高 14—11 土浦工

▼同決勝
麻生高 14（8—5、6—6）11 笠間高

【麻生高は2年振り15回目出場】

▽女子一回戦
下妻二 24—7 水戸二
麻生高 15—4 下館二
太田二 8—6 結城二
竜崎二 13—1 北茨城
笠間高 15—2 八郷高
鉾田二 16—5 土浦三

▽同二回戦
水海道二高 12—7 下妻二
麻生高 9—6 太田二
笠間高 10—5 竜崎二
磯原高 13—2 鉾田二

▽同準決勝
水海道二高 12—8 麻生高

磯原高 7－3 笠間高
▽同決勝
水海道二高 11（2－1、9－2）3 磯原高
【水海道二高は19回目の出場】

第31回新潟県高校総体

▼男子一回戦
柏崎高 24－6 長岡大手高
巻高 15－12 明訓高
柏崎工 14－12 中条高
▼同準決勝
中越高 14－4 柏崎高
柏崎工 13－9 巻高
▼同決勝
中越高 16（8－3、8－7）10 柏崎工高
▽女子準決勝
新潟江南高 21－0 能生水高
明訓高 9－8 巻高
▽同決勝
新潟江南高 21（8－0、13－0）0 明訓高

石川県高校総体
6／2～6／5 河北台、金沢美大体育館

▼男子一回戦
金沢商 18－11 羽咋
松陵工 12－6 二水
北陸大谷高 22－12 金沢市立工
▼同二回戦
小松工 24－6 金沢商
錦丘 21－10 津幡
大聖寺 32－5 宝達
泉丘 14－4 松任
小松 21－10 松陵工
小松商 29－7 向陽
星稜 18－3 県工
寺井 27－7 北陸大谷高
▼同三回戦
小松工 18－9 錦丘
泉丘 15－3 大聖寺
小松 11－4 小松商
寺井 12－6 星稜
▼同準決勝
小松工 14－6 泉丘
小松 14－11 寺井
▼同決勝
小松工高 12（4－3、8－5）8 小松高
▽女子一回戦
星稜 6－4 津幡
金沢商 12－7 珠洲実
▽同二回戦
小松商 14－6 金沢商
小松市女 34－1 短大高
大聖寺 7－3 松任
北陸大谷高 15－1 星稜
▽同準決勝
小松市女 18－1 小松商
北陸大谷高 10－7 大聖寺
▽同決勝
小松市立女高 11（6－1、5－0）1 北陸大谷高

第32回愛知県高校総体
5／28、6／4 岡崎北高

▼男子一回戦
名市工 31－9 国府
西尾 12－9 名西
緑 15－10 一宮
春日井 18－10 三好
名南工 14－10 豊橋工
中京 22－10 市工芸
桜台 15－12 一宮西
岡崎城西 17－10 旭丘
▼同二回戦
名市工 21－7 西尾
緑 18－10 春日井
中京 20－11 名南工
岡崎城西 14－8 桜台
▼同準決勝
名市工 15－11 緑
中京 15－12 岡崎城西
▼同決勝
名古屋市立工業 17（8－5、9－3）8 中京高校
【名市工は2年振り3回目出場】
▽女子一回戦
名短付 10－1 三好
高蔵 10－5 国府
緑商 14－5 瑞陵
岩津 16－4 一宮西
市邨 14－8 桜台
東海女 9－6 蒲郡
西陵 9－3 佐屋
岡崎 17－1 南陽
▽同二回戦
名短付 16－3 高蔵
岩津 12－6 緑商
市邨 19－4 東海女
岡崎 9－0 西陵
▽同準決勝
岩津 8－7 名短付
岡崎 6－5 市邨
▽同決勝
岡崎高 13（8－2、5－3）5 岩津高
【岡崎高は初出場】

第24回東海高校総体三重県予選会
6／4～11 四日市高、霞が浦体育養

▼男子予選トーナメント
○Aゾーン
四日市中央工 32－11 桑名
四日市工 29－5 四日市中央工
○Bゾーン
桑名西 18－4 亀山
桑名工 13－8 高田
桑名西 14－5 桑名工
○Cゾーン
尾鷲 24－11 海星
四日市 20－7 津工
尾鷲 24－7 四日市
▼同決勝リーグ
四日市工 16－6 尾鷲
尾鷲 10－8 桑名西
四日市工 34－8 桑名西
【四日市工は7年連続17回目出場】
▽女子予選トーナメント
○Aゾーン
四日市 28－0 四日市西
津女子 14－4 四日市
○Bゾーン
尾鷲 5－3 菰野
暁 14－11 尾鷲
○Cゾーン
四日市商 11－5 亀山
上野 9－6 桑名
四日市商 21－10 上野
▽準決勝リーグ
津女子 6－22 四日市商
暁 16－10 四日市商
津女子 9－6 暁
【津女子は3年連続12回目出場】

第18回香川県高校総体
6／3～6／5 高松工芸

▼男子一回戦
三本松 25－3 高松西
大手前 14－14 高松東
（PTC3－2で大手前が進出）
丸高高 11－8 坂出工
高松商 18－3 藤井高
高松南 16－9 坂出一
▼同二回戦
高松商 18－7 丸亀高
【順位①高松商（初優勝）②高松工③高松高④丸亀高】
▽女子一回戦
中央高 8－5 高松西
高松商 8－7 三本松
高松一 8－3 高松高
▽同準決勝
高松南 16－2 中央高
高松一 4－3 高松商
高松工 9－8 三本松
丸亀高 11－4 大手前
高松商 23－6 高松南
高松高 9－5 高松一
▼準決勝リーグ
高松商 15－6 高松高
高松工 15－3 丸亀高
高松商 10－9 高松工
高松高 11－10 丸亀高
高松工 15－8 高松高

▽準決勝
高松南高 7（3—1、4—1）2 高松一高

愛媛県高校総体
6／3〜6／5 松山北高

▼男子一〜二回戦
松山北中島 18—14 新居浜西高
吉田高 15—12 松山北中島
松山南 10—7 今治南
松山東 22—7 今治西
新居浜工高 15—12 松山西
松山工 16—8 今治工
松山商 20—18 宇和島南高
新居浜東高 13—11 新田高
松山北 22—4 新居浜商高

▼同三回戦
松山南 7—7 吉田高
（PTC3—2で松山が進出）
新居浜工高 11—6 松山東
松山工 22—12 松山商
新居浜東高 9—8 松山南

▼同準決勝
新居浜工高 18—7 松山南
新居浜東高 19—9 松山工

▼同決勝
新居浜工業高 17（8—2、9—2）4 新居浜東高
【新居浜工は3年連続、24度目】

▽女子一回戦
新居浜東高 16—7 松山北中島
今浜西 7—4 西条高
新居浜西高 23—2 東温高
大島高 12—6 松山商
松山西 13—5 上居高

▽同二回戦
数居浜東高 6—2 伊予農
新居浜西高 25—1 今治西
新居浜市商 17—0 大島高
松山西 7—2 西条農

▽同準決勝
新居浜西高 16—6 新居浜東高
新居浜市商 17—5 松山西

▽準決勝
新居浜市商高 14（8—5、6—2）7 新居浜西高
【新居浜商は7年連続、11度目】

秋田県高校総体
6／10〜12日 秋田和洋女子高

▼男子予選Aリーグ
大曲農 12—12 羽後
湯沢 31—2 大曲東
羽後 16—11 大曲東
大曲農 30—11 大曲東
羽後 14—10 湯沢

▼男子予選Bリーグ
大曲 18—11 秋田南
大曲 14—10 横手
秋田南 24—7 横手

男子決勝トーナメント

▼準決勝
羽後 16—9 秋田南
湯沢 10—7 大曲

▼決勝
湯沢高 20（9—3、11—5）8 羽後高

▽女子決勝リーグ
大曲 5—4 大曲農
秋田和洋女 20—2 六郷
秋田和洋女 9—2 大曲
大曲農 18—2 六郷
大曲 10—1 六郷
秋田和洋女 7—5 大曲農

千葉県予選会
於 和洋女大付属国府台女子高

▼男子準々決勝
佐原 25—10 柏
木更津 20—10 沼南
八千代 19—15 鎌ケ谷
清水 20—7 小金

▼準決勝
佐原 22—7 木更津
清水 24—11 八千代

▼決勝
佐原高 15（7—4、8—8）12 清水高

▽女子準決勝
昭和学院 12—0 東邦
流山中央 19—1 佐原

▽決勝
昭和学院 16（8—3、8—1）4 流山中央

京都府予選会

▼男子一回戦
桃山 11—5 西京
桂 20—4 洛水
洛星 10—5 堀川
塔南 5—4 北嵯峨
大谷 11—9 洛東
城陽 13—11 洛北
向陽 25—9 洛陽
東宇治 13—10 鴨沂
城南 19—8 平安
同志社 18—4 田辺

▼同二回戦
嵯峨野 15—3 桃山
桂 25—6 日吉台
洛星 13—2 塔南
東山 13—11 大谷
乙訓 18—13 城陽
東宇治 11—8 向陽
城南 15—12 京商
伏見 19—9 同志社

▼同三回戦
桂 8—6 嵯峨野
東山 9—8 洛星
乙訓 16—11 東宇治
城南 11—8 伏見

▼同準決勝
東山 11—9 桂
乙訓 17—8 城南

▼同決勝
東山高 12（5—3、7—3）6 乙訓高

▽女子三回戦
明徳 14—2 塔南
洛北 5—4 日吉台
西京 5—4 乙訓
京女 10—4 嵯峨野

▽同準決勝
明徳 12—5 洛北
京女 8—4 西京

▽同決勝
明徳高 7（5—2、2—4）6 京都女高

第21回全国教職員ハンドボール選手権大会

於・宮崎市　8/9(水)〜13(日)

▼男子一回戦

栃の葉クラブ(栃木)	31—24	岡山教員(岡山)
佐賀教員(佐賀)	38—12	新潟教員(新潟)
ロイヤルスワロー兵庫	20—16	岐阜教員(岐阜)
山口県教員団B	32—18	青森教員クラブ
佐野工教職員(大阪)	29—15	山梨教員(山梨)
神奈川県教員団	36—19	あけもどろ学園・沖縄
鹿児島教員(鹿児島)	36—20	京都教員(京都)
長崎教員(長崎)	不戦勝	和歌山教員クラブ
ATF(愛知)	28—11	広島教員(広島)
埼玉フェニックス	26—15	教員福岡

▼同二回戦

大阪イーグルス・大阪	27—20	栃の葉クラブ
静岡県教員団(静岡)	26—20	赤間クラブ(福岡)
群馬教員(群馬)	38—17	滋賀教員(滋賀)
愛知教員(愛知)	17—15	佐賀教員
ロイヤルスワロー	28—14	東京星友会(東京)
熊本教員(熊本)	29—13	富山教員(富山)
山口教員B	25—18	大分教員(大分)
宮崎教員A(宮崎)	39—21	佐野工教員
フンドルス(茨城)	27—14	神奈川教員
愛知クラブ(愛知)	24—8	大阪OLDイーグルス
東京教員(東京)	27—18	三重教員(三重)
鹿児島教員	38—22	香川教員(香川)
山口県教員団A	34—10	長崎教員
千葉教職員クラブ	26—15	宮崎教員B
ATF	17—12	福井教員(福井)
スワロー兵庫(兵庫)	28—20	埼玉フェニックス

▼同三回戦

大崎イーグルス	26—9	静岡県教員団
群馬教員	22—15	愛知教員
熊本教員	19—13	ロイヤルスワロー
宮崎教員A	20—12	山口教員B
コンドルス	19—13	愛教クラブ
鹿児島教員	19—15	東京教員
山口教員A	27—15	千葉教員クラブ
スワロー兵庫	14—13	ATF

▼同四回戦

大阪イーグルス	26—9	群馬教員
熊本教員	20—12	宮崎教員A
コンドルズ	19—13	鹿児島教員
スワロー兵庫	22—19	山口教A

▼同準決勝

大阪イーグルス	23（11—7、12—13）20	熊本教員
コンドルズ	16（8—8、8—5）13	スワロー兵庫

▼同決勝

大阪イーグルス	23（11—11、12—6）17	コンドルズ

前半立ち上がりイーグルスは、礼井のPT、ミドルシュート、高橋のサイドシュートで3点を先行一方コンドルスもエース中村が2点連取し一進一退の展開となった。しかし、前半残り5分からイーグルスは持ち前の速い攻撃から3点連取により試合の流れを大きく変え、イーグルスのペースで試合が進められ、前半の差で試合が決定づけられた。

【コン】	得	【イグ】	得
大村(GK)	0	木田(GK)	0
池田	1	高橋	5
立原	3	足羽	0
中村	7	大西	5
塚田	2	橋本	1
高野	0	河原崎	0
大川	0	早川	0
福永	1	福井	8
松金	0	松星	0
細谷	0	三谷	1
大西	3	勝本	3
	17		23

TP（審・近藤 松尾）

【PT】イグ　福井1　コン　中村2

▽女子一回戦

武蔵野クラブ(東京)	18—4	愛知教員女子(愛知)
兵庫教員風見鶏クラブ	13—13 PTC	埼玉白小鳩(埼玉)
保土ケ谷クラブ神奈川	22—7	山口県女子教員団
富山教員(富山)	14—13	熊本教員(熊本)

▽同二回戦

大阪教員女子A・大阪	15—13	武蔵野クラブ
風見鶏クラブ	不戦勝	福岡教育大OG
長崎教員(長崎)	13—10	保土ケ谷クラブ
富山教員	8—6	大阪教員女子B

▽同準決勝

大阪教員女子A	21（10—3、11—7）17	兵庫風見鶏クラブ
長崎教員	12（8—5、4—5）10	富山教員

▽同決勝

大阪教員女子A	16（6—4、10—5）9	長崎教員

◎同三位決定戦

富山教員	14（9—2、5—7）9	兵庫教員

若さとスピードの大阪、巧者長崎という対戦であった。

前半は大阪がポストシュートで先行し長崎も辻のポストシュートで対抗するが、大阪のスピードある攻撃に6—4の2点差で前半を終了。

後半に入り大阪は前半より更に力強い攻撃展開を見せ、追いすがる長崎を振り切った。

【長崎】	得	【大A】	得
谷本(GK)	0	堀川(GK)	0
郡山	2	津熊	1
松本	3	名賀	0
藤山	3	辻	1
浜本	0	岩本	1
古賀	0	沢田	3
溜	1	小西	4
		小倉	2
		池渕	4
	9		16

FP（審・岡村 中村）

【PT】大A　小倉2　長崎　藤山1

☆編集後記☆

秋も段々と色濃くなり、紅葉を楽しむ季節となりました。また、ハンドボール競技も全国で繰り広げられ、スポーツの秋全盛となっている今日ですが、機関紙の発行遅延に関しまして皆々様に多大なご迷惑をお掛けしていることは、私の責任にしてここで改めてお詫びを申し上げます。

編集委員長・小松原

興奮再現。

持ち運んで楽しむか



BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ¥43,800

クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W+2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

- ●FM/AM2バンドラジオつき
- ●(クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- ●フルオートストップ
- ●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
- ●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき

ステレオ パディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC:9V(単1×6) AC:100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システム パディスコ



組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)



- ●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
- ●レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六六号
昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可
昭和五三年八月二十五日印刷
昭和五三年九月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
渋谷区神南一－一－一
代表(467)七〇九七
東京六－五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）